

平成26年度 全国学力・学習状況調査

調査結果のポイント

平成26年8月

文 部 科 学 省
国立教育政策研究所

目 次

1. 調査の概要	1
2. 教科に関する調査	2
○正答の状況	2
○教科に関する調査の結果（小学校）	3
○教科に関する調査の結果（中学校）	15
○過去の調査との同一問題の正答率の比較	27
3. 質問紙調査	28
○学習に対する関心・意欲・態度	28
○学習及び指導の状況	35
○学校生活等	47
○学習習慣	49
○生活習慣	53
○社会に対する興味・関心	55
○規範意識	56
○地域との関わり	57
4. 都道府県の状況（公立）	58
○全国平均と比較した都道府県の状況	58
○都道府県別・平均正答数一覧	59
○都道府県別・平均正答率一覧	60
○都道府県別・児童生徒の正答率分布一覧	62

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の対象

小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年の全児童

中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年の全生徒

(3) 調査の内容

①教科に関する調査（国語，算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

- 〔・国語A，算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- 〔・国語B，算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題

②質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日時

平成26年4月22日（火）

(6) 平成26年4月22日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	児童数
公立学校	20,217 校	20,177 校（99.8%）	1,080,663 人
国立学校	75 校	75 校（100.0%）	7,126 人
私立学校	218 校	100 校（45.9%）	6,017 人
合計	20,510 校	20,352 校（99.2%）	1,093,806 人

【中学校調査】

	対象学校数	学校数（実施率）	生徒数
公立学校	9,813 校	9,742 校（99.3%）	1,018,365 人
国立学校	81 校	78 校（96.3%）	10,397 人
私立学校	755 校	353 校（46.8%）	31,248 人
合計	10,649 校	10,173 校（95.5%）	1,060,010 人

2. 教科に関する調査

○正答の状況

○ 教科に関する調査の正答の状況は、次のとおりである。

【小学校調査】

教科	平均正答数	平均正答率
国語 A	11.0 問／15 問	73.1%
国語 B	5.6 問／10 問	55.6%
算数 A	13.3 問／17 問	78.2%
算数 B	7.6 問／13 問	58.4%

【中学校調査】

教科	平均正答数	平均正答率
国語 A	25.5 問／32 問	79.8%
国語 B	4.6 問／ 9 問	51.6%
数学 A	24.5 問／36 問	67.9%
数学 B	9.1 問／15 問	60.5%

○調査時間についての児童生徒の反応

○ 解答時間が「やや足りなかった」または「全く足りなかった」と回答した児童生徒の割合は、次のとおりである。

小学校調査				中学校調査			
国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
13.9%	48.9%	10.2%	23.0%	5.9%	19.3%	8.4%	21.5%

○教科に関する調査の結果（小学校）

（１）国語

○調査問題の趣旨・内容

国語 A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- （例）■ 故事成語の意味や使い方を理解する。
■ 物語を創作する際、情景描写の効果を捉える。
■ 新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える。
■ 話合いの観点に基づいて情報を関係付ける。

国語 B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- （例）■ 討論会を計画的に進めるために、司会は観点を整理したり、参加者は立場を明確にして質問や意見を述べたりする。
■ 科学に関する本や文章を効果的に読み、分かったことや疑問に思ったことを関係付けながらまとめる。
■ 二つの詩を比べて読み、内容や表現の工夫を捉え、自分の考えを書く。

○課題等

主な特徴

- 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解することについて、複数の事柄を「～たり、…たり」という表現を用いて適切な文に書き直すことは良好である。また、仮定の表現を用いて適切な文に書き直すことも、相当数の児童ができている。〔A〔6〕一・二〕
- 立場や根拠を明確にして話し合うことについて、発言をする際に一定の立場に立ってはいいるが、根拠を明確にした上で発言をする点に、依然として課題がある。〔B〔1〕三〕

話すこと・聞くこと

- ◆(B) 司会の役割として話合いの観点を整理したり、質問の意図を捉えたりすることに課題がある。〔B〔1〕一・二〕

書くこと

- ◆(A) 物語を創作する際、情景描写の効果を捉えることに課題があり、指導の充実が求められる。〔A〔3〕〕

読むこと

- ◆(A) 物語の登場人物の相互関係を捉えることに、依然として課題がある。〔A〔5〕〕
- ◆(B) 詩の解釈における着眼点の違いを捉えることに課題があり、指導の充実が求められる。〔B〔3〕二〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 今回出題した漢字の読みや書きは、相当数の児童ができているものがある。〔A〔1〕一・二〕
- ◆(A) 今回出題した故事成語の意味や使い方を理解することに課題があり、指導の充実が求められる。〔A〔2〕〕

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語 A、B…国語 B
〔 〕内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

- **司会の役割を理解し、立場や意図を捉えながら話合いの観点を整理する指導の充実**
 - ・ 目的や意図に応じて計画的に話し合うために、司会は重要な役割をもつ。特に、話し手の発言を受け止め、適切な観点を明確にしていくことが重要である。そのために司会者には、まず発言内容をよく聞き、考えの中心となることを捉えることができるように指導することが大切である。さらに、複数の発言内容を聞き分け、考えの立場や見解を分類・整理するなどして、適切な観点を設定できるように指導することも大切である。各教科等との関連も図りながら、全員が司会の役割を経験する機会を設けるなどして、具体的に指導することが重要である。

書くこと

- **読むこととの関連を図り、物語を創作する指導の充実**
 - ・ 物語を創作する上で、物語の表現の特徴とその効果について捉えることは、重要である。そのためには、物語などの文学的な文章を読むことの授業において、描写の工夫（行動や表情、会話（内言）、風景など）の効果を理解することができるように指導することが大切である。その際、登場人物の心情などについて、直接的に描写されているものだけでなく、暗示的に表現されているものも捉えることができるように指導することが重要である。

読むこと

- **登場人物の人物像や相互関係を捉える指導の充実**
 - ・ 物語などの文学的な文章では、登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながらか読むことが重要である。そのためには、中心人物を押さえ、その人物と周囲の主な登場人物について、行動や会話文、情景描写などに着目しながら、それぞれの人物像が分かる言葉をカードに書き出し、整理するなどの指導が考えられる。その際、その中心人物を取り巻く登場人物がその中心人物をどのように見ているのか、物語の進行に伴ってどのように変化していくのかに着目できるようにすることが大切である。
- **詩の解釈における着眼点の違いを捉える指導の充実**
 - ・ 詩を様々な着眼点から解釈し、考えたことを交流することは重要である。そのためには、自分の考えと相手の考えとを比較しながら、どのような点が共通していたり、相違していたりしているかを考えながら交流することができるように指導することが大切である。その際、互いの考えを分類して、どのような着眼点に基づくものかを明確にできるように指導することが重要である。

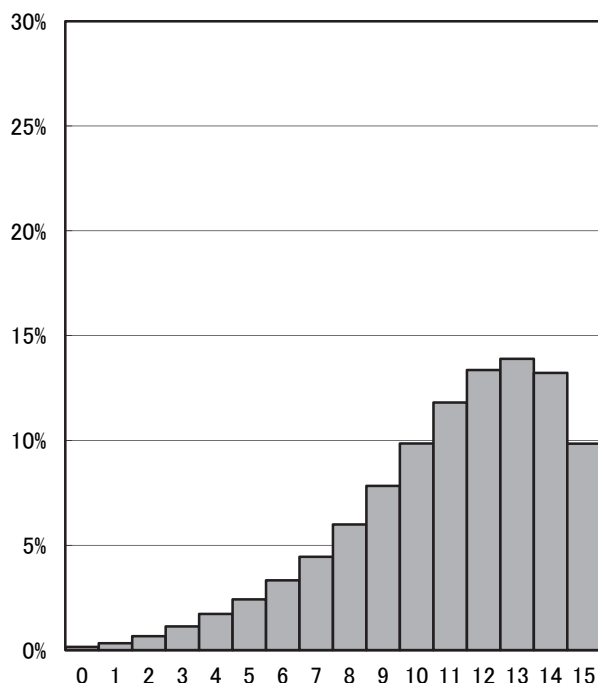
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- **故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で用いる指導の充実**
 - ・ 故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で起こる出来事や、その様子を故事成語を用いて表すことは重要である。そのためには、長い間使われてきた故事成語に興味をもち、その意味を調べてカードに記録するなど、先人の知恵や教訓、機知に触れることができるように指導することが大切である。その上で、実生活の中で意図的に活用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが重要である。

【小学校国語 A】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,093,806 人	11.0 問/15 問	73.1%	12.0 問	3.1	13 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



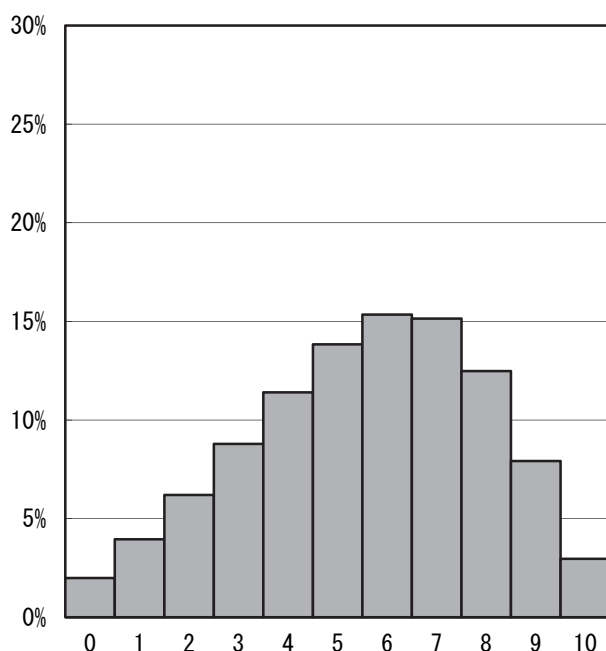
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	72.5
	書くこと	3	72.4
	読むこと	2	68.7
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	1 2	73.8
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	1	72.5
	書く能力	3	72.4
	読む能力	2	68.7
	言語についての知識・理解・技能	1 2	73.8
問題形式	選択式	7	66.7
	短答式	8	78.6
	記述式	0	

【小学校国語 B】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,093,582 人	5.6 問/10 問	55.6%	6.0 問	2.4	6 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	51.4
	書くこと	3	34.6
	読むこと	7	57.5
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	2	69.9
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	34.6
	話す・聞く能力	3	51.4
	書く能力	3	34.6
	読む能力	7	57.5
	言語についての知識・理解・技能	2	69.9
問題形式	選択式	4	62.2
	短答式	3	67.9
	記述式	3	34.6

【小学校国語A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（％）	無解答率（％）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1ー（１）	漢字を読む （道路の標識を見る）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5-6 (1)ウ (ア)					○		○		91.7	1.7
1ー（２）	漢字を読む （街灯がつく）					5-6 (1)ウ (ア)					○		○		87.1	2.5
1ー（３）	漢字を読む （塾いよく走り出す）					5-6 (1)ウ (ア)					○		○		74.5	1.5
1二（１）	漢字を書く （料理をのせた <u>さら</u> を運ぶ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5-6 (1)ウ (ア)					○		○		97.8	0.6
1二（２）	漢字を書く （勝利をい <u>わう</u> ）					5-6 (1)ウ (ア)					○		○		59.4	6.8
1二（３）	漢字を書く （かぜを <u>よぼう</u> する）					5-6 (1)ウ (ア)					○		○		77.6	7.2
2ー	故事成語の使い方として適切なものを選択する （五十歩百歩）	故事成語の意味と使い方を理解する				3-4 (1)ア (イ)					○	○			56.0	0.3
2二	故事成語の使い方として適切なものを選択する （百聞は一見にしかず）					3-4 (1)ア (イ)					○	○			50.1	0.5
3	情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	情景描写の効果を捉える		3-4 オ		5-6 (1)イ (ケ)				○		○	○		58.9	0.2
4	新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する	新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える			5-6 ウ						○		○		71.9	0.3
5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	物語の登場人物の相互関係を捉える			5-6 エ							○		○	65.5	0.5
6ー	「～たり、…たり」という表現に直して書く	複数の事柄を並列の関係で書く		5-6 オ		5-6 (1)イ (キ)				○		○		○	75.0	5.6
6二	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	仮定の表現として、適切なものを選択する		5-6 オ		5-6 (1)イ (キ)				○		○	○		83.2	1.9
7	話合いの記録の仕方として適切なものを選択する	話合いの観点に基づいて情報を関係付ける	5-6 ア						○				○		72.5	2.1
8	言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する （はかる）	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する				3-4 (1)イ (カ)						○	○		74.5	2.6

【小学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（％）	無解答率（％）	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式
1一	司会㊟の発言の内容をまとめて書く	目的に応じて、話合いの観点を整理する	5・6オ					○					○		65.4	7.8
1二	林さん㊟の質問の狙いとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5・6エ					○				○			60.3	3.5
1三	大野さん㊟の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	立場を明確にして、質問や意見を述べる	5・6エ	5・6ウ			○	○	○					○	28.4	4.9
2一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える			5・6ウ					○			○		72.0	8.2
2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く		5・6ウ	5・6ウ		○		○	○				○	27.1	7.4
2三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む			5・6イ					○			○		66.2	4.3
3一（１）	【詩１】の表現の特徴として適切なものを選択する	二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える			5・6エ	5・6（１）イ（カ）				○	○	○			80.5	4.4
3一（２）	【詩２】の表現の特徴として適切なものを選択する				5・6エ	5・6（１）イ（カ）					○	○	○			59.4
3二	【詩２】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	詩の解釈における着眼点の違いを捉える			3・4オ						○		○		48.7	19.7
3三	【詩１】と【詩２】を比べて読んで考えたことを書く	二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く		5・6ウ	5・6エ		○		○	○				○	48.3	25.8

調査問題の例：B 1 立場や意図をはつきりさせながら討論する <卒業文集>

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司 会

これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

大 野

①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどいからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができます。作業に取り組みやすいと思います。

丸 山

②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろって、読みやすくなります。

司 会

次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

平 川

③はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

関 口

④私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができますので、取り組みやすいと思います。

司 会

⑤ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「『記念に残る卒業文集のあり方』」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「『記念に残る卒業文集のあり方』」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「『記念に残る卒業文集のあり方』」から、質問や意見をお願いします。

手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「『記念に残る卒業文集のあり方』について」

司 会

あなた

大野さんの発言に対して、質問（ありますか）が、あります。

丸 山

はい。学校の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていないと思います。

谷

丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組みるので、手書きがよいと思います。

丸 山

確かに、パソコンを上手に使用しない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教える方が取り組みやすいと思います。

林

ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「『記念に残る卒業文集のあり方』」について、質問や意見をお願いします。

大野さんの発言に対して、質問（ありますか）が、あります。

（討論会が続く）

問題の概要と正答率

三 討論会での発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く（28.4%）

正答（例）

- （大野さんの発言に対して）質問（があります。）「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところはありましたか。
- （大野さんの発言に対して）意見（があります。）パソコンであれば、「文字の形や大きさがそろった」と言いましたが、手書きでも原稿用紙のままだに合わせていないに書けば、読みやすい文集になると思います。

三

あなたは、【討論会の様子】の中の「イ」のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の「イ」の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。
- 書き出した文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出した文は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

大野さんの発言に対して、質問（があります）が、あります。

100字 80字

(2) 算数

○調査問題の趣旨・内容

算数A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 示された図から基準量と割合を読み取り、比較量を求める式として正しいものを選ぶ。
■ 単位量当たりの大きさを求める式を書く。
■ 作図に用いられる平行四辺形の特徴を選ぶ。
■ 四則の混合した式で求められる問題を選ぶ。

算数B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 示された計算のきまりを基に、工夫して計算する方法を記述する。
■ 最大値に着目してグラフに表すことができない理由を記述する。
■ 公倍数に着目して3つの数量の関係を記述する。
■ 示された情報を基に筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述する。

○課題等

主な特徴

- 整数、小数、分数の四則計算をすること、特に計算の順序についてのきまりなどを理解することに、改善の状況が見られる。〔A¹〕, A⁸〕
- 図を観察して数量の関係を理解したり、数量の関係を表現している図を解釈したりすることに課題がある。〔A²〕(2), B⁵〕(2)〕
- 数量の大小を比較する際に、根拠となる事柄を過不足なく示し、判断の理由を説明することについて、改善の状況が見られる設問もあるものの、依然として課題がある。〔B³〕(3)〕
・最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述することについては、理由を説明する問題の中ではこれまでで最も高い正答率であり、改善の状況が見られる。〔B²〕(2)〕

数と計算

- ◇(A) 整数、小数、分数の四則計算をすることは、相当数の児童ができている。〔A¹〕
- ◆(A) 割合が1より小さい場合でも、比較量が(基準量)×(割合)で求められることの理解に課題がある。〔A²〕(2)〕
- ◆(B) 10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することに課題がある。〔B³〕(2)〕

量と測定

- ◇(A) 示された直方体の体積を求めることは、相当数の児童ができている。〔A⁵〕(2)〕
- ◆(B) 示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。〔B³〕(1)〕
- ◆(B) 示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。〔B³〕(3)〕

図形

- ◇(A) 円周の長さを、直径の長さを用いて求めることについては、相当数の児童ができている。〔A⁵〕(1)〕
- ◆(A) 作図に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がある。〔A⁶〕
- ◆(B) 示された条件を基に、平面に4つの長方形を敷き詰めることに課題がある。〔B⁵〕(1)〕

数量関係

- ◇(A) 計算の順序についてのきまりを理解して計算したり、計算のきまりを具体的な場面に置き換えて捉えたりすることについては、相当数の児童ができており指導の改善の状況が見られる。〔A¹〕(5), A⁸〕
- ◆(B) 全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することに課題がある。〔B²〕(3)〕
- ◆(B) 繰り返し出現する事象から規則性を読み取ることに課題がある。〔B⁴〕(1)〕

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…算数A、B…算数B

[]内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

数と計算

○ 数の相対的な大きさについて考えたり表現したりする活動の充実

- ・ 10, 100などを単位として、数の相対的な大きさを捉えることで、実感をもって理解することが困難な大きな数量を簡潔に捉えたり、具体的なイメージをもって処理したりできるようになることが大切である。

○ 小数倍の意味を図と関連付けて理解する指導の充実

- ・ 日常の場面から、基準量と比較量を捉え、数量の関係（基準量、比較量、割合）を図に表したり、図から読み取ったりすることが大切である。また、倍に関する学習は第2学年から系統的に展開されており、整数の乗法についての理解を基に、小数の乗法の場合も同じように考え、小数倍についての理解を深めることが大切である。

量と測定

○ 条件に合う時間や時刻を筋道立てて考える活動の充実

- ・ 条件に合わせて行動の計画を立てる際には、算数で学習した時刻や時間の読み方及び求め方とともに、複数の条件を基に筋道立てて考える能力を活用することが大切である。その際、情報を図の中に表し整理し、筋道を立てて考えたり、図と式をあわせて考えたりすることで、時間の増減を実感をもって捉えることが大切である。

○ 示された資料から、問題の解決に必要な量を選択したり読み取ったりして根拠となる事実を捉え、言葉や数、式、図、表、グラフなどの表現を関連付けて表現する指導の充実

- ・ 問題を解決した過程を他者に説明する際には、問題から必要になる情報を選択するとともに、情報を関連付けて、根拠となる事実や判断の理由を的確に表現することが大切である。その際、表現したことを振り返り、比較する対象が明確になっているか、説明の根拠となる情報が示されているか等を確認することで表現を洗練することが大切である。

図形

○ 問題を解決した結果が正しいことを、条件を基に振り返って考える活動の充実

- ・ 解決した結果を振り返ることは、誤りに気付くことができるよさがあり、日常の授業の中で繰り返し指導していくことが大切である。また、問題を解決する際に立てた見通しに基づいて振り返ることで、見通しを立てたことのよさを実感できるようにすることも大切である。

○ 図形の約束や性質と、操作とを関連付けて理解する指導の充実

- ・ 図形の学習で展開される作図の指導において、用いる道具の操作と、その意味とを関連付けて理解することが、図形の約束や性質についての理解を深める上で大切である。また、図形の作図においては、かき方の指導に重点が置かれることが多いため、作図を通して図形の理解を深めることを意識して指導することが大切である。

数量関係

○ 目的に応じて表やグラフを選択し、活用する活動の充実

- ・ 目的に応じて、適切な表やグラフを選択し、表したり、読み取ったり、判断をしたりする活動を通して、表やグラフを算数の学習のみならず、他教科等の学習や生活に活用できるようにすることが大切である。その際、表やグラフの表し方について工夫したり、また、それらを関連付けて読み取ったり、判断したりするなどの活動を十分に行うことが大切である。

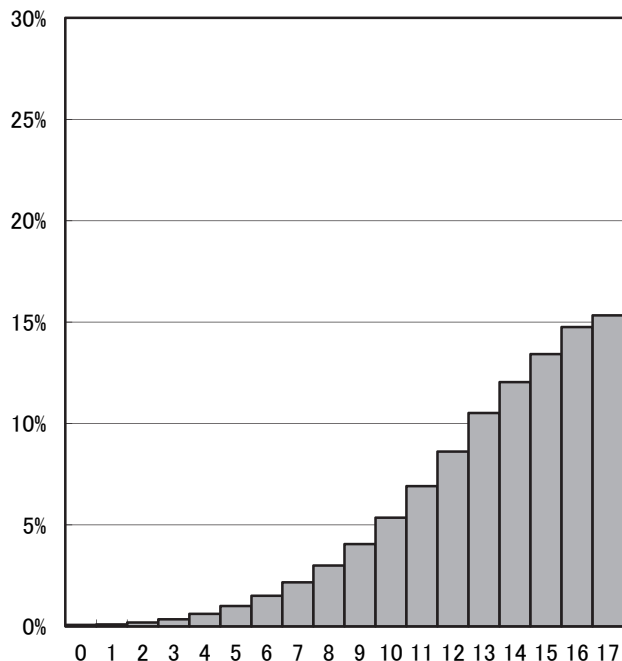
○ 事象を観察して数量の変化や対応の様子を捉え、そこから規則性を見いだす指導の充実

- ・ 事象から規則性を見いだすことは、求める場面が変化した場合でも、具体的な場面を想起して逐一処理することに比べて、変化や対応の関係を基に処理することができるので、合理的、能率的に問題を解決していく上で大切である。その際、日常の事象を算数の内容と関連付け、学習した用語を用いて的確に表現できるようにすることが大切である。

【小学校算数A】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,093,799人	13.3問/17問	78.2%	14.0問	3.2	17問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



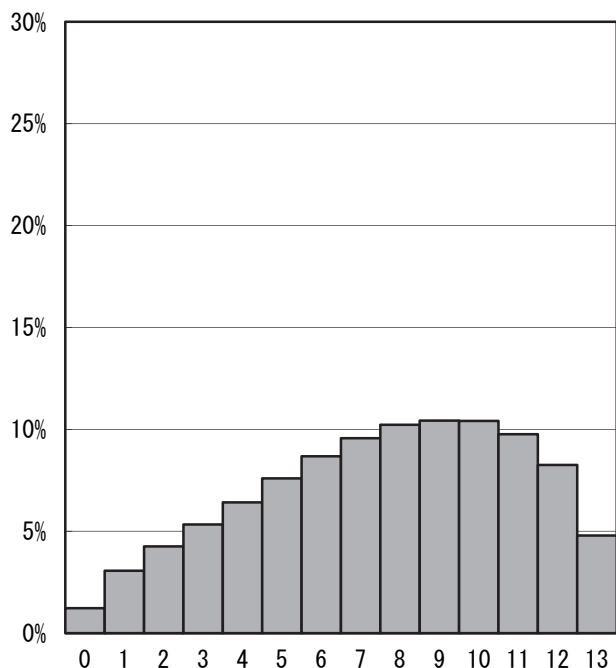
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	8	81.9
	量と測定	3	74.9
	図形	4	72.0
	数量関係	3	81.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	0	
	数量や図形についての技能	8	87.9
	数量や図形についての知識・理解	9	69.6
問題形式	選択式	8	70.8
	短答式	9	84.9
	記述式	0	

【小学校算数B】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,093,581人	7.6問/13問	58.4%	8.0問	3.3	9問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	8	61.5
	量と測定	5	56.6
	図形	1	65.8
	数量関係	5	56.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	6	48.1
	数量や図形についての技能	4	76.4
	数量や図形についての知識・理解	3	55.0
問題形式	選択式	4	64.9
	短答式	4	62.4
	記述式	5	49.9

【小学校算数A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（％）	無解答率（％）
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1（１）	4 6 + 5 7 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	2A (2)ア						○			○		96.9	0.1
1（２）	9 0 3 × 6 を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3A (3)イ						○			○		92.9	0.2
1（３）	9 − 0. 8 を計算する	小数第 1 位までの減法の計算をすることができる	3A (5)イ						○			○		83.9	0.8
1（４）	2 ÷ 5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	4A (5)ウ						○			○		91.9	0.9
1（５）	1 0 0 − 2 0 × 4 を計算する	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				4D (2)ア			○			○		81.1	0.5
1（６）	1 ÷ 3 + 2 ÷ 5 を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	5A (4)オ						○			○		90.7	1.1
2（１）	示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ（8 0 c m）の 1. 2 倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が 1 より大きい場合、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している	5A (3)ア							○	○			72.1	0.3
2（２）	示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ（8 0 c m）の 0. 4 倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	割合が 1 より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している	5A (3)ア							○	○			54.3	0.4
3	示された分数の中から、1 ÷ 2 より大きいものを選ぶ	分数の相等及び大小について理解している	5A (4)アイエ							○	○			72.7	0.6
4（１）	8 m ² に 1 6 人いる A の部屋の様子を表している図を選ぶ	二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることができる		5B (4)ア						○	○			82.4	0.7
4（２）	8 m ² に 1 6 人いる A の部屋について、1 m ² 当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している		5B (4)ア						○		○		61.0	3.4
5（１）	直径 6 cm の円の円周を求める式と答えを書く	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる			5C (1)エ				○			○		84.0	1.5
5（２）	1 cm ³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める	体積の単位（1 cm ³ ）と測定について理解している		5B (2)アイ						○		○		81.3	1.8
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	作図に用いられている図形の約束や性質を理解している			4C (1)アイ					○	○			52.1	0.6
7	縦 5 cm、横 1 1 cm、高さ 4 cm の直方体の面㊦になる四角形を選ぶ	立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している			2C (1)ウ 4C (2)ア					○	○			69.6	0.7
8	答えが 1 0 0 − 2 0 × 4 の式で求められる問題を選ぶ	四則の混合した式の意味について理解している				4D (2)ア				○	○			81.2	0.9
9	正五角形の 1 辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ	二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に表すことができる			5C (1)ア	4D (1)ア 4D (2)ウ			○		○			82.1	1.2

【小学校算数B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（％）	無解答率（％）
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1（１）	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	示された場面から計算の結果の見通しをもち、（２位数）×（１位数）の筆算をすることができる	3A (3)ア						○		○			94.6	0.3
1（２）	二人の説明を基に、 37×24 の積が888になることを書く	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	2A (1)エ 3A (3)ウ			4D (3)ア		○					○	55.5	5.9
2（１）	6・7月の水の使用量 1500m^3 は、プールに入る水の量 250m^3 の何倍かを求める式と答えを書く	示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる	4A (3)イエ	5B (2)ア					○			○		82.6	2.9
2（２）	1目盛りを 50m^3 として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く	最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる		5B (2)ア		3D (3)ア		○					○	69.3	2.5
2（３）	6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の $1/4$ より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる		5B (2)ア		2D (3)ア 3D (3)ア 4D (4)イ 5D (4)				○	○			61.7	1.2
3（１）	昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く	示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる		3B (3)イ				○				○		38.8	3.4
3（２）	40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる	1A (1)キ 2A (1)オ							○	○			56.9	1.8
3（３）	示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる		2B (2)ア 5B (4)ア				○					○	30.8	1.9
4（１）	㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	繰り返されるリズムの規則性（周期）を見だし、それを基に小節数を求めることができる	1A (1)イ			4D (1)ア			○			○		62.4	1.7
4（２）	二人の㊦のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる	5A (1)イ					○					○	60.7	12.0
5（１）	畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく	示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることができる			2C (1)イ				○			○		65.8	5.1
5（２）	使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ	示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる	5A (3)ア							○	○			46.3	3.5
5（３）	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる	5A (3)イ			5D (3)		○					○	33.3	13.0

調査問題の例：B **5** (2) 事象の観察と論理的な考察（日本の伝統文化）

5

さゆりさんたちは、日本の伝統文化について調べました。

(2) まことさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。




使いやすいはしの長さのめやす

使いやすいはしの長さのめやすは、「^{ひと}一あた半」と言われています。

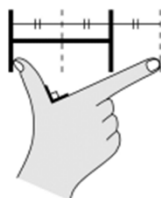
一あたは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あたを1.5倍した長さです。

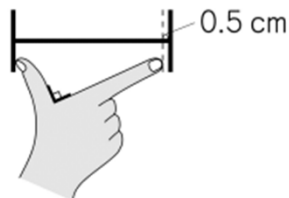


下の **1** から **4** までの中から、一あた半の長さを表しているもの（) を1つ選んで、その番号を書きましょう。

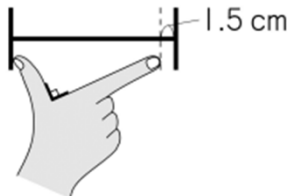
1



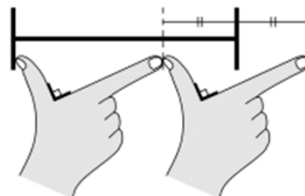
2



3



4



問題の概要と正答率

正答

(2) 使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ (46.3%)

4

○教科に関する調査の結果（中学校）

（１）国語

○調査問題の趣旨・内容

国語Ａ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- （例） ■ フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する。
■ 仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える。
■ 主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する。
■ 古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す。

国語Ｂ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- （例） ■ ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く。
■ 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く。
■ 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く。

○課題等

主な特徴

- 自分の考えを表す際に、根拠を示すことは意識されているが、根拠として取り上げる内容を正しく理解した上で活用する点に課題がある。〔B〔1〕三, B〔2〕三〕
- 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことについて、説明する際に、文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが、それらを用いて伝えたい内容を適切に説明する点に、依然として課題がある。〔B〔2〕三〕

話すこと・聞くこと

- ◇(A) 必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことは、相当数の生徒ができています。〔A〔1〕二〕
- ◆(A) 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題があり、指導の充実が求められる。〔A〔6〕一〕

書くこと

- ◇(A) 心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることは、相当数の生徒ができています。〔A〔2〕一〕
- ◆(B) 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに、依然として課題がある。〔B〔2〕三〕
- ◆(B) 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに、依然として課題がある。〔B〔3〕三〕

読むこと

- ◇(A) 登場人物の心情や行動に注意して読んだり、文章全体と部分との関係を考えたりして、内容を理解することは、相当数の生徒ができています。〔A〔3〕一, A〔5〕二〕
- ◆(B) 文章の構成や表現の仕方などについて自分の考えをもつことに課題がある。〔B〔1〕三〕
- ◆(B) 複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題がある。〔B〔2〕一〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことは、相当数の生徒ができています。〔A〔8〕五 1〕
- ◆(A) 文脈に即して漢字を正しく書くこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。〔A〔8〕一 1, 2, 三ア〕

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語A、B…国語B

[]内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

○ 話合いの目的を踏まえた上で、観点に沿って発言を整理する指導の工夫

- ・ 目的の達成を目指して話し合う力を身に付けるために、何について、いつまでに結論を出すのかを確認し、出された意見をどのような観点で整理すれば目的に合った結論を導くことができるのかなどを考えながら話合いを行うように指導することが大切である。

書くこと

○ 伝えたい事柄を明確にして、分かりやすく書く指導の工夫

- ・ 伝えたい事柄を整理して分かりやすく書く力を身に付けるために、目的や相手に応じて、取り上げる内容、それらを示す順番などを考え、よりよい文章にするように指導することが大切である。その際、取り上げる内容は適切か、それらの内容を用いて書いた文章が、伝えたい事柄を正確に伝えるものになっているかなどの観点で、文章を読み直すことが重要である。

○ 根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書く指導の工夫

- ・ 本や文章を読んで考えたことを具体的に書く力を身に付けるために、本や文章のどの部分に特に興味や関心をもったのかを明確に示した上で、なぜそこに着目したのか、その内容について自分はどのように考えるのかなどを丁寧に書くように指導することが大切である。例えば、引用した箇所と自分の考えとの関連、根拠として取り上げた内容の妥当性など、書いた文章を複数の観点から見直すことが重要である。その際、自分の考えに照らして、根拠として取り上げた引用や要約の量は適切か否かも考えることが大切である。

読むこと

○ 資料を読んで要旨を捉えたり、必要な情報を正確に読み取ったりする指導の工夫

- ・ 資料を読んで要旨を捉えたり、必要な情報を正確に読み取ったりする力を身に付けるために、目的に沿って資料の内容を整理したり、自分の言葉で言い換えたりした際に、それらの内容が、使用した資料の内容を適切に取り上げているかどうかを確認するように指導する必要がある。

○ 文章の構成や表現の仕方を捉えて自分の考えをもつ指導の工夫

- ・ 文章の構成や表現の仕方を捉えて自分の考えをもつ力を身に付けるために、書き手が文章を書こうとした目的や意図、それに応じた表現の工夫について丁寧に分析するように指導する必要がある。例えば、書き手はどういう効果を狙ってそのような表現の技法を使用したのか、それにより十分な効果は得られているのかなどの観点から文章を読むことが重要である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

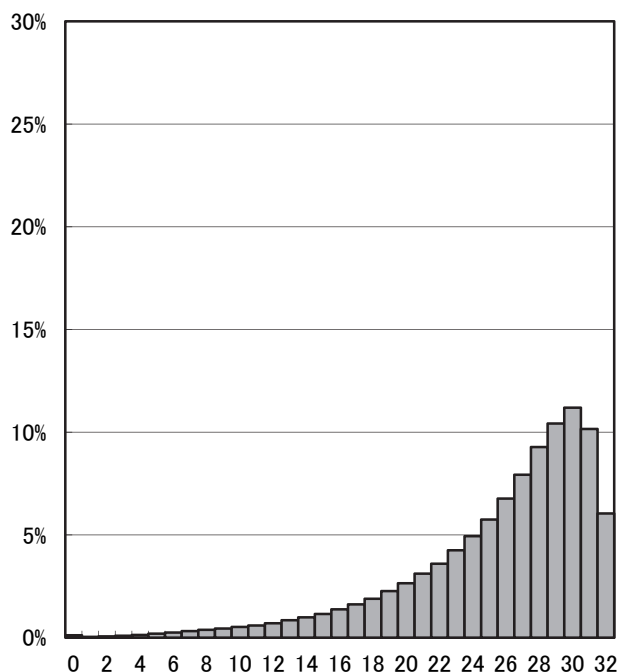
○ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導の工夫

- ・ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにするために、辞書等を使って、なじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会を意図的に設ける必要がある。その上で、具体的な言語活動の中で調べた語句等の定着を図るように指導することが大切である。

【中学校国語 A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,059,584 人	25.5 問/32 問	79.8%	27.0 問	5.6	30 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



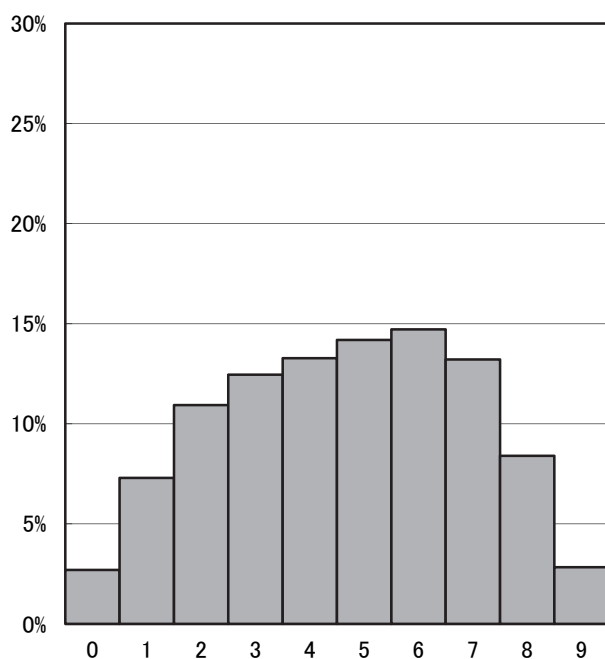
分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	72.7
	書くこと	6	83.7
	読むこと	5	83.3
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	17	79.1
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	72.7
	書く能力	6	83.7
	読む能力	5	83.3
	言語についての知識・理解・技能	17	79.1
問題形式	選択式	20	83.5
	短答式	12	73.6
	記述式	0	

【中学校国語 B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,059,784 人	4.6 問/9 問	51.6%	5.0 問	2.3	6 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	0	
	書くこと	3	41.6
	読むこと	8	49.8
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	4	57.5
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	41.6
	話す・聞く能力	0	
	書く能力	3	41.6
	読む能力	8	49.8
	言語についての知識・理解・技能	4	57.5
問題形式	選択式	6	56.5
	短答式	0	
	記述式	3	41.6

【中学校国語A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正 答 率 （ ％ ）	無 解 答 率 （ ％ ）		
			話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	国 語 へ の 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能	選 択 式	短 答 式			記 述 式	
1 ー	フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	2ウ					○				○			78.9	0.2	
1 二	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	1エ					○				○			80.6	0.2	
2 ー	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える		2ウ					○			○			91.1	0.2	
2 二	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える		2エ					○				○		80.1	9.0	
3 ー	主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ					○		○			92.1	0.2	
3 二	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア						○	○			80.2	0.2	
3 三	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ						○	○			79.6	0.4	
4 ー	ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する		1イ					○			○			92.7	0.4	
4 二	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える		1エ					○				○		80.9	3.0	
5 ー	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する			2ア					○		○			78.7	0.4	
5 二	「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する			2イ						○	○			85.9	0.5	
6 ー	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	2オ					○					○		54.9	5.7	
6 二	話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ					○				○			76.2	1.1	
7 ー	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる		2ア					○			○			84.9	0.6	
7 二	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		2オ					○			○			72.6	1.0	
8 ー 1	漢字を書く（地域の人を <u>ショウタイ</u> する）	文脈に即して漢字を正しく書く			2（1） ウ（イ）						○		○		58.5	11.9	
8 ー 2	漢字を書く（円の <u>ハンケイ</u> を求める）				2（1） ウ（イ）							○		○		60.2	3.2
8 ー 3	漢字を書く（計画を行動に <u>ウツ</u> す）				2（1） ウ（イ）							○		○		74.1	10.6
8 二 1	漢字を読む（アユの <u>稚魚</u> を放流する）	文脈に即して漢字を正しく読む			2（1） ウ（ア）						○		○		77.6	7.4	
8 二 2	漢字を読む（このホールは <u>音響</u> 効果が良い）				2（1） ウ（ア）							○		○		88.9	3.9
8 二 3	漢字を読む（新記録に <u>挑</u> む）				2（1） ウ（ア）							○		○		95.2	1.2
8 三 ア	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、 <u>急がば回れ</u> といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1（1） イ（ウ）						○	○			60.0	1.0	
8 三 イ	適切な語句を選択する（先のことは分からないが、 <u>とりあえず</u> 準備だけはしておく）				1（1） イ（ウ）						○	○			96.3	0.6	
8 三 ウ	適切な語句を選択する（地域の伝統的な文化を継承する）				2（1） イ（イ）							○	○		81.2	0.8	
8 三 エ	適切な語句を選択する（笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という）				1（1） イ（ウ）							○	○		89.7	0.7	
8 三 オ	適切な敬語を選択する（お客様、私が校内を <u>ご案内</u> します）				2（1） イ（ア）							○	○		93.1	0.7	
8 三 カ	適切な語句を選択する（あの人は、 <u>単刀直入</u> にものを言う）				1（1） イ（ウ）							○	○		86.7	1.0	
8 三 キ	適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日にのびのびと <u>羽を伸ば</u> す）				1（1） イ（ウ）							○	○		92.2	1.0	
8 四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く（英気を <u>養</u> う）		辞書を活用して、語句の意味を適切に書く			2（1） イ（イ）							○		○	60.6	11.9
8 五 1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1（1） ア（ア）							○		○	80.7	6.8	
8 五 2	古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す	古典と昔話とを対応させて内容を捉える			2（1） ア（イ）							○		○	71.6	8.7	
8 六	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する	文字の大きさ、配列などに注意して書く			1（2） ア							○	○		78.0	1.5	

【中学校国語B】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式			正答率（％）	無解答率（％）
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1一	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				1(1)イ(オ)					○	○			66.0	0.3
1二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ			2エ					○		○			59.4	0.4
1三	ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く		2オ	2ウ	1(1)イ(オ)	○		○	○	○			○	48.9	3.3
2一	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える			1イ					○		○			31.7	0.5
2二	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	複数の資料から必要な情報を読み取る			1カ					○		○			61.7	0.6
2三	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く		1ウ	2オ		○		○	○				○	28.8	15.6
3一	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ					○		○			52.6	0.7
3二	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する			2イ	2(1)ア(イ)				○	○	○			67.8	0.8
3三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	2エ	2(1)ア(ア)	○		○	○	○			○	47.2	8.3

調査問題の例：B 1 読書についての標語を考える

1 図書委員の早川さんは、皆にもと本を読んでもらうために、社会で取り組まれている「読書週間」の標語を参考にして標語を作っています。次は、「読書週間」の標語を整理した「早川さんのノート」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【早川さんのノート】

「読書週間」の標語

■ 標語から伝わってくるメッセージと、表現の工夫とその効果について

・ ありますか？好きだといえる1冊が：

（メッセージ）↓・ お気に入りの一冊をもつことは人生を豊かにする。この機会に本をたくさん読んで好きな一冊を見つけてほしい、というメッセージが云つる。

・呼びかけの形で始めることで、読む人の関心を引いているところがよい。

とその効果〉

五七五のリズムも親しみがもてる

・ 風もページをめくる秋

(メッセージ) ↓ ・ 秋はさわやかな季節なので、たまには快い風の中で本を読み、リラックスして時間を過すのもいいですね。よみかた、おまかせします。云々。

表現の工夫 ↓
 □ を使って、情景を豊かに想像できるようにしている。また、本言止めで

が使われ、秋が強調されている。

- ・ 本と旅する 本を旅する

（メッセージ）↓ × 本と旅したり、本を旅したりするのはよいというメッセージが伝わる。

○旅の途中で本を読むのは楽しいことだ。また、旅をしなくても、本を読めば未知の世界を知ることができるというメッセージが伝わる。

〔表現の工夫↓・「本」と「旅する」という言葉のつなげ方を一文字変えて繰り返すことで心地よいリズムが生まれている。〕

三 早川さんは、次の二つの「標語」A、Bを作りました。これらの「標語」について、あなたはどのように思いますか。A、Bから一つ選び（どちらの「標語」を選んでもかまいません）、選んだ「標語」から伝わってくる（「メッセージ」と「表現の工夫」と）その効果についてのあなたの考えを、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線でも消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈標語〉

A 心のアンテナ読書で伸ばそう

B その本が未来を示す案内図

条件1 〈メッセージ〉及び〈表現の工夫とその効果〉は、〔早川さんのノート〕を参考にして具体的に書くこと

条件2 〈メッセージ〉は、「というメッセージが伝わる。」に続くように書くこと

条件3（メッセージ）及び（表現の工夫とその効果）は、それぞれ四十文字以上、六十文字以内で書くこと。（文末の「というメッセージが伝わる。」は字数に含みません。）

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

問題の概要と正答率

三 ノートを基に、標語から伝わってくる
〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉
を書く (48.9%)

正答 | (例)

- A

〈メッセージ〉

私たちは、本から様々な情報をキャッチすることができます。だから、心を豊かにするために本を読みませんか(というメッセージが伝わる。)

〈表現の工夫とその効果〉

心のアンテナを伸ばすという比喩を用いることで、読書することのよさを読む人に分かりやすく示している。

- B

＜メッセージ＞

さりげなく手に取った一冊の本が、あなたの未来を決定付けることになるかもしれません（というメッセージが伝わる。）

〈表現の工夫とその効果〉

本を案内図に例えることで、本から得る情報が読者の今後の生活や生き方に影響を与えることが印象深く伝わる。

[illegible]

(2) 数学

○調査問題の趣旨・内容

数学A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 正の数と負の数とその計算，文字式の計算をする。一元一次方程式，連立二元一次方程式を解く。
■ 証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する。
■ 与えられた表を基に，2つの数量の関数関係を表現する。一次関数のグラフを選ぶ。
■ ある階級の相対度数を求める。樹形図を利用して確率を求める。

数学B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 図形の性質を用いて，横断幕を取り付ける適切な位置を求める方法を説明する。
■ 2つの偶数の商についての正しい記述を選び，その理由を説明する。
■ 2つの線分の長さが等しいことを証明する。
■ スティックゲームの得点のとりやすさについて正しい記述を選び，その理由を確率を用いて説明する。

○課題等

主な特徴

- 関数領域の内容のうち，特に反比例における x と y の値の変化の特徴を理解することや，一次関数 $y = ax + b$ における a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解することについて，改善の状況が見られる。〔A10(2)，A11(2)〕
- 記述式問題は，特に確率を用いた理由の説明，グラフを用いた方法の説明に課題がある。
〔B5(2)，B6(3)〕
- 図形の性質を証明することについて，着目すべき図形を指摘することは良好であるが，構想を立てて証明することに課題がある。〔A8，B4(1)〕

数と式

- ◇(A) 指数を含む文字式に数を代入して式の値を求めることと，数量を文字式で表すことは，相当数の生徒ができています。〔A2(3)，A2(4)〕
- ◇(A) 式変形と移項の対応については，相当数の生徒が理解している。〔A3(1)〕
- ◆(A) 数量の大小関係を不等式に表すことに課題があり，指導の充実が求められる。〔A2(1)〕
- ◆(B) 予想された事柄が成り立たないことを判断し，その理由を説明することに課題があり，指導の充実が求められる。〔B2(3)〕

図形

- ◇(A) 線対称な図形を完成することは，相当数の生徒ができています。〔A4(1)〕
- ◇(A) 空間における直線と平面の位置関係や，面の平行移動によって柱体が構成されることは，相当数の生徒が理解している。〔A5(1)，A5(2)〕
- ◆(A) 図形の回転移動の前後における角の対応を読み取ることに課題があり，指導の充実が求められる。〔A4(3)〕
- ◆(B) 証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄を基に，発展的に考えることに課題があり，指導の充実が求められる。〔B4(2)〕

関数

- ◆(A) 関数の意味を理解すること，グラフと表を関連付けて反比例を理解すること，一次関数の変化の割合を理解することに課題があり，指導の充実が求められる。〔A9，A10(4)，A11(1)〕
- ◇(B) グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し，結果を改善することは，相当数の生徒ができています。〔B6(2)〕
- ◆(B) グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し，結果を改善して問題を解決する方法を数学的に説明することに課題があり，指導の充実が求められる。〔B6(3)〕

資料の活用

- ◆(A) 相対度数を求めることに課題があり，指導の充実が求められる。〔A13(1)〕
- ◆(B) 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があり，指導の充実が求められる。〔B5(2)〕

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は，A…数学A，B…数学B

[]内の記号は，問題番号

○指導改善のポイント

数と式

○ 数量の大小関係を、文脈に沿って的確に捉えて表現する活動の重視

- ・ 事象における数量の大小関係を不等式に表せるようにするために、事象において比べようとする数量に着目し、文脈に沿って「以上」、「以下」、「より大きい」、「未満」のいずれかを的確に捉え、不等号を用いて表現する活動を重視することが大切である。

○ 事柄が成り立つかどうかの判断に応じて、判断した理由を説明する活動の充実

- ・ 事柄が成り立つかどうかの判断に応じて理由を説明できるようにするために、成り立つと判断した場合には文字式を用い、成り立たないと判断した場合には反例をあげ、それぞれ説明する活動を充実することが大切である。特に、事柄が成り立たない場合には、反例を1つあげて、それを根拠とすることで説明が成り立つことを理解できるようにすることが大切である。

図形

○ 図形の移動の様子を観察し、移動前後の関係を視覚的に捉える活動の重視

- ・ ある図形がきまりにしたがって移動していることを、コンピュータを使うなどして視覚的に捉えたり、平行移動、対称移動、回転移動の定義や性質を確認したりする活動を重視することが大切である。

○ 証明の方針を立て、その方針に基づいて証明する活動の充実

- ・ 証明の方針を立てるために、結論を導くには何がわかればよいかを明らかにし、着目すべき図形を指摘したり、性質や関係を見いだしたりする活動を充実することが大切である。
- ・ 方針に基づいて証明を書くことができるようにするために、「証明の方針」と「証明」の対応や順番について考え、仮定から結論を導く推論の過程を的確に表現する活動を充実することが大切である。

関数

○ 関数の意味を理解し、関数関係を見いだしたり、関数を判断したりする活動の重視

- ・ 様々な事象の中の2つの数量 x 、 y について、 y が x の関数であるかどうかを見いだすために、具体的な数を x に当てはめて、 y が一意に決まるかどうかを確かめる活動を重視することが大切である。
- ・ 表、式、グラフを相互に関連付け、式やグラフの形から関数を判断する活動を重視することが大切である。

○ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実

- ・ 様々な問題を解決する際に、グラフの傾きや交点の意味などを事象に即して解釈しながら問題解決の方法について考え、「用いるもの」と「用い方」を的確に捉えて説明する活動を充実することが大切である。

資料の活用

○ 相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向を読み取る活動の重視

- ・ 相対度数の必要性和意味についての理解を深められるようにするために、度数分布表やヒストグラムに基づき、ある階級の度数が総度数に占める割合を求め、その割合を用いて資料の傾向を読み取る活動を重視することが大切である。

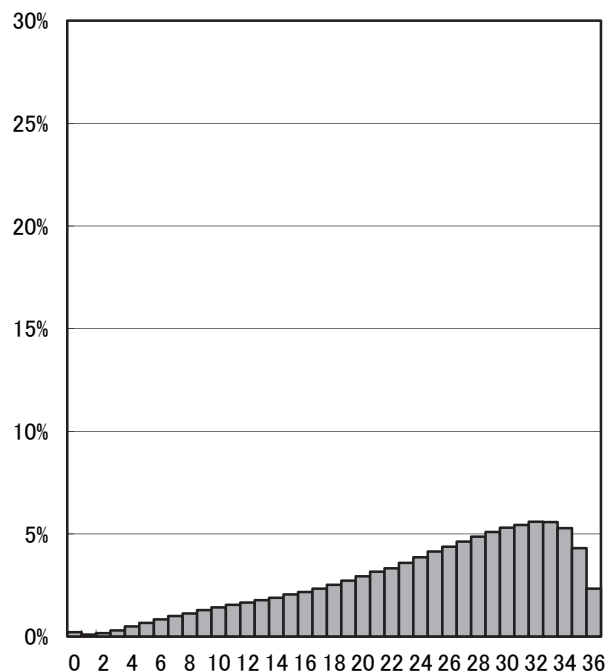
○ 不確定な事象の起こりやすさを判断し、その理由を説明する活動の充実

- ・ 不確定な事象の起こりやすさを判断するために、試行を多数回繰り返して統計的確率を求めたり、樹形図などに整理して数学的確率を求めたりする活動を充実することが大切である。
- ・ 判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために、説明すべき事柄とその根拠の両方を示し、確率を用いて的確に説明する活動を充実することが大切である。

【中学校数学A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,059,966 人	24.5 問/36 問	67.9%	26.0 問	8.2	32 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



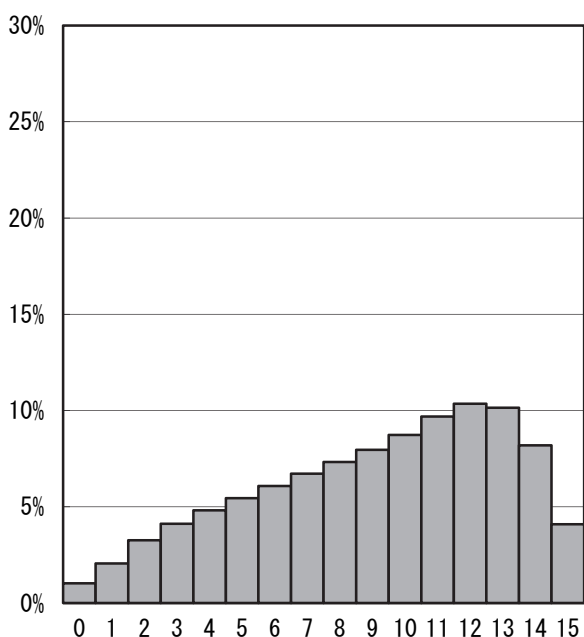
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域	数と式	1 2	77.9
	図形	1 2	66.9
	関数	8	58.7
	資料の活用	4	59.6
評価の 観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	0	
	数学的な技能	1 5	68.8
	数量や図形などについての知識・理解	2 1	67.3
問題形式	選択式	1 8	64.9
	短答式	1 8	70.9
	記述式	0	

【中学校数学B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,060,010 人	9.1 問/15 問	60.5%	10.0 問	3.8	12 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域	数と式	3	57.6
	図形	5	59.3
	関数	5	65.0
	資料の活用	2	56.5
評価の 観点	数学への関心・意欲・態度	0	
	数学的な見方や考え方	1 4	58.5
	数学的な技能	0	
	数量や図形などについての知識・理解	1	87.8
問題形式	選択式	3	83.5
	短答式	6	64.0
	記述式	6	45.5

【中学校数学A】設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	$3/4 \div 5/6$ を計算する	分数の除法の計算ができる	小6 (1)イ						○			○		86.1	2.7
1 (2)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1 (1)ウ						○			○		71.1	1.4
1 (3)	-7の絶対値を書く	絶対値の意味を理解している	1 (1)ア							○		○		81.3	5.7
1 (4)	35を基準にして38を正の数で表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1 (1)ア、エ							○		○		91.3	2.2
2 (1)	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1 (2)エ						○			○		46.0	10.7
2 (2)	$10xy \div 5x$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2 (1)ア						○			○		91.0	2.3
2 (3)	$a=2$ 、 $b=3$ のときの式 ab^2 の値を求める	指数を含む文字式に数を代入して式の値を求めることができる	2 (1)イ						○			○		83.1	5.7
2 (4)	男子 m 人と女子 n 人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、 m と n を用いて表した式を選ぶ	数量を文字式で表すことができる	2 (1)イ						○			○		91.5	0.4
3 (1)	一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	1 (3)イ							○	○			90.0	0.6
3 (2)	一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	1 (3)ウ						○			○		60.5	12.0
3 (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	2 (2)ウ							○		○		74.7	1.0
3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y=3x-2 \\ y=2x+3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2 (2)ウ						○			○		68.0	9.7
4 (1)	線対称な図形を完成する	対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができる	小6 (1)イ						○			○		93.9	2.4
4 (2)	与えられた方法で作図される直線について、正しい記述を選ぶ	線分の垂直二等分線の作図の方法について理解している	1 (1)ア							○	○			56.7	0.7
4 (3)	与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ	図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる	1 (1)イ						○		○			42.9	0.5
5 (1)	直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く	空間における直線と平面の平行について理解している	1 (2)ア							○		○		81.4	4.1
5 (2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ	平面図形をその面と垂直な方向に平行に移動させたときの、空間図形の構成について理解している	1 (2)イ							○	○			85.2	0.5
5 (3)	円錐の展開図において、側面のおうぎ形の半径を読み取る	円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ることができる	1 (2)イ						○			○		68.5	7.2
5 (4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している	1 (2)ウ							○	○			39.8	0.7
6 (1)	長方形ABCDにおいて、 $AC=BD$ が表す性質を選ぶ	記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる	2 (2)ウ						○			○		62.5	0.6
6 (2)	三角形の外角について、正しい記述を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2 (1)ア							○	○			74.0	0.9
6 (3)	n 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解している	2 (1)イ							○	○			48.3	1.0
7	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2 (2)ウ							○	○			73.6	0.9
8	証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する	証明のための構想や方針の必要性和意味を理解している	2 (2)イ、ウ							○		○		76.4	7.0
9	与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	1 (1)ア							○		○		36.7	17.5
10 (1)	$x=2$ 、 $y=6$ の比例の式を求める	比例の関係を式に表すことができる	1 (1)エ						○			○		57.9	12.6
10 (2)	反比例の性質を表した記述を選ぶ	反比例の意味を理解している	1 (1)イ							○	○			76.5	1.1
10 (3)	$s=vt$ を基に、速さ v が一定のとき、時間 t と道のり s の関係について、正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することができる	1 (1)エ							○	○			61.2	1.5
10 (4)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	1 (1)エ							○	○			46.4	1.7
11 (1)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している	2 (1)イ							○	○			47.8	1.7
11 (2)	一次関数 $y=3x-4$ のグラフを選ぶ	一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している	2 (1)イ							○	○			75.5	1.3
12	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点を選ぶ	連立二元一次方程式の解が、2直線の交点の座標として求められることを理解している	2 (1)ウ							○	○			67.4	2.5
13 (1)	生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から相対度数を求めることができる	1 (1)ア						○			○		43.4	16.3
13 (2)	ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ	ヒストグラムにおいて、中央値の意味を理解している	1 (1)ア							○	○			52.3	1.8
14 (1)	面びょうを投げた実験結果から、上向きになる確率を選ぶ	確率の意味を理解している	2 (1)イ、ウ							○	○			77.0	2.0
14 (2)	樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める	樹形図などを利用して、確率を求めることができる	2 (1)ア						○			○		65.6	10.3

【中学校数学B】設問別集計結果

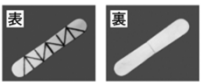
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（％）	無解答率（％）
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1（１）	案内図を基に、経路を示すはり紙を選ぶ	与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる		1（2） ア、イ				○			○			77.4	0.3
1（２）	外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ	日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる		1（2） ア、イ				○			○			93.0	0.4
1（３）	図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する	事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる		1（2） ア、イ				○					○	61.3	12.3
2（１）	2つの偶数の和は偶数になることの説明を完成するために、式 $2m+2n$ を変形する	与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することで、その説明を完成することができる	2（1） イ、ウ					○				○		62.0	9.0
2（２）	2つの偶数の積は8の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その積を求める	事柄が成り立たない理由を説明する場面で、反例をあげることで、その説明を完成することができる	2（1） イ、ウ					○				○		66.1	8.7
2（３）	2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する	予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができる	2（1） イ、ウ					○					○	44.9	6.2
3（１）	与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1（1） ウ					○		○		87.8	5.7
3（２）	大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する	事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる			1（1） ア、エ			○					○	63.0	29.5
4（１）	2つの線分の長さが等しいことを証明する	図形の性質を、構想を立てて証明することができる	2（2） イ、ウ					○					○	40.2	21.9
4（２）	$\angle BAC=110^\circ$ 、 $BD=AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める	付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる	2（2） ア、ウ					○				○		24.4	25.2
5（１）	スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本表のときの得点を求める	ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができる			2（1） ア			○				○		80.2	4.7
5（２）	1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる			2（1） イ			○					○	32.7	7.1
6（１）	弟が駅に着いたときの、兄のいる地点から駅までの道のりを求める	与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる			2（1） イ、エ			○				○		63.3	8.7
6（２）	兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる			2（1） イ、エ			○			○			80.1	2.4
6（３）	兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる			2（1） イ、エ			○					○	30.7	17.1

調査問題の例：B 5 (2) 不確定な事象の数学的な解釈と判断（スティックゲーム）

5 昔のアメリカに、棒を投げて得点を競う「スティックゲーム」と呼ばれる、子供の遊びがありました。

スティックゲームの遊び方

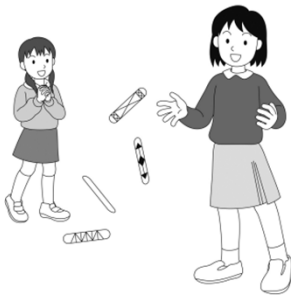
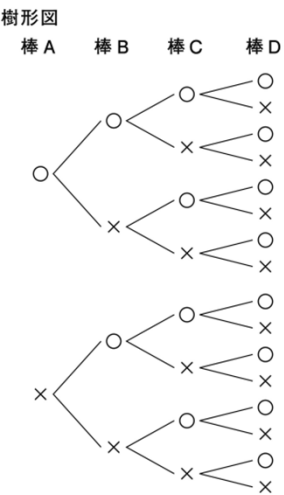
- ① 4本の棒を準備し、それぞれの片面にいろいろな模様をかき、その面を表とする。
- ② 4本の棒を同時に投げ、表と裏の出方に応じて、右のように得点を決める。
- ③ あらかじめ決めておいた回数だけ②を行い、得点の合計の高い方を勝ちとする。



- 4本表, 0本裏…5点
- 3本表, 1本裏…2点
- 2本表, 2本裏…1点
- 1本表, 3本裏…2点
- 0本表, 4本裏…5点

優菜さんと桃花さんは、このスティックゲームに興味をもち、4本の棒を1回投げるときの各得点のとりやすさについて考えることにしました。

右の樹形図は、このときの表と裏の出方について、4本の棒をA、B、C、D、それぞれの棒の表を○、裏を×として、すべての場合を表したものです。



問題の概要と正答率

(2) 1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する (32.7%)

正答 (例)

1点をとる確率は $\frac{3}{8}$ であり、
2点をとる確率は $\frac{1}{2}$ なので、
1点をとる確率より2点をとる確率の方が大きい。だから、
1点より2点の方がとりやすい。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、棒の表と裏の出方は、同様に確からしいものとします。

(2) 二人は、この遊びをくり返しているうちに、この得点の決め方では、4本の棒を1回投げるとき、1点より2点の方がとりやすいのではないかと考えました。

1点より2点の方がとりやすいですか。下のア、イの中から正しいものを1つ選び、それが正しいことの理由を、確率を使って説明しなさい。

- ア 1点より2点の方がとりやすい。
- イ 1点より2点の方がとりやすいとはいえない。

○過去の調査との同一問題の正答率の比較

- 過去の全国学力・学習状況調査等との同一問題（９問）について、過去の調査の正答率と比べて、３ポイント以上高いものが４問、３ポイント未満の変化のものが４問、３ポイント以上低いものが１問となっている。

	過去の調査と比べて ３ポイント以上高い 問題の数	過去の調査と比べて ３ポイント未満の 変化の問題の数	過去の調査と比べて ３ポイント以上低い 問題の数	合計
小学校調査	２問	１問	０問	３問
中学校調査	２問	３問	１問	６問

※ 過去の調査とは、全国学力・学習状況調査及び TIMSS（国際数学・理科教育動向調査）を指す。複数回にわたり実施されている場合は、実施年度が最も近いものと比較している。（各調査の対象学年や実施時期、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。）

（小学校国語）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
漢字を読む（勢い）	74.5%	76.4%（平成 20 年度・小 6）
漢字を書く（予防）	77.6%	63.2%（平成 20 年度・小 6）

（小学校算数）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
示された分数の中から、 $\frac{1}{2}$ より大きいものを選ぶ	72.7%	52.5%（TIMSS2003・小 4） 55.4%（TIMSS2007・小 4） 60.0%（TIMSS2011・小 4）

（中学校国語）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
漢字を書く（招待）	58.5%	53.6%（平成 24 年度・中 3）
漢字を読む（音響）	88.9%	90.9%（平成 20 年度・中 3）
適切な語句を選択する（あの人は、 単刀直入にものを言う）	86.7%	89.8%（平成 19 年度・中 3）

（中学校数学）

問題の内容	正答率	過去の調査の正答率（実施年度・対象学年）
男子 m 人と女子 n 人が 1 人 2 個ずつ持った風船の合計数を、 m と n を用いて表した式を選ぶ	91.5%	90.2%（TIMSS2011・中 2）
円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	39.8%	38.1%（平成 19 年度・中 3）
反比例の性質を表した記述を選ぶ	76.5%	63.6%（平成 20 年度・中 3）

3. 質問紙調査

学習に対する関心・意欲・態度

《国語》

【小学校】

○以下と回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

- ・国語の勉強は好き
- ・国語の勉強は大切だと思う
- ・国語の授業の内容はよく分かる
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

【中学校】

○国語の授業の内容はよく分かると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

○以下と回答している生徒の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

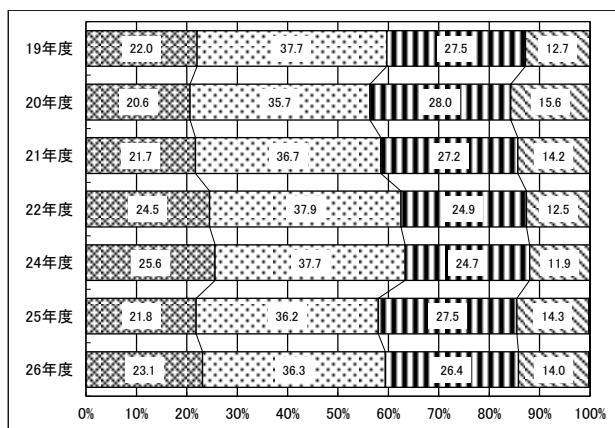
- ・国語の勉強は好き
- ・国語の勉強は大切だと思う
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

<児童生徒質問紙>

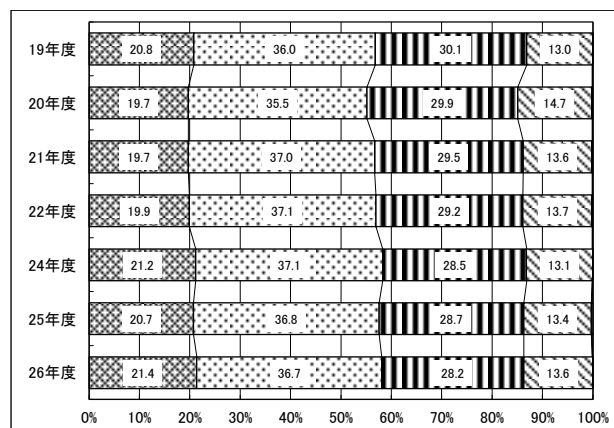
質問 50：国語の勉強は好きですか

☐ 当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 当てはまらない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

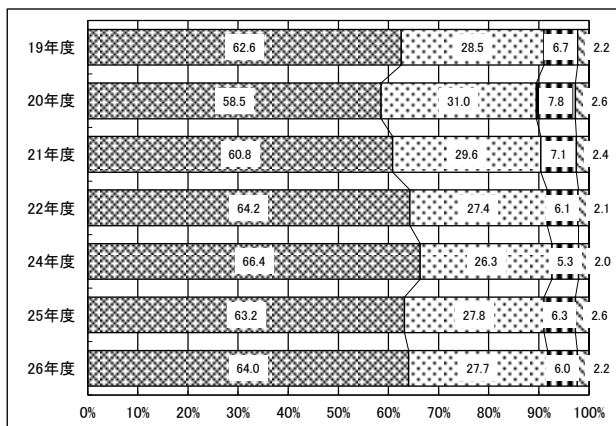


<児童生徒質問紙>

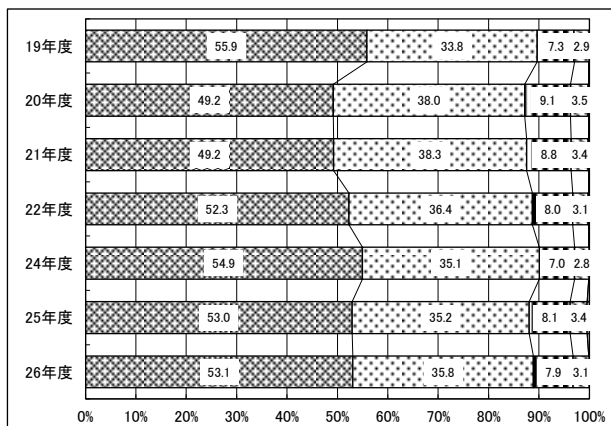
質問 51：国語の勉強は大切だと思いますか

☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ☒ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

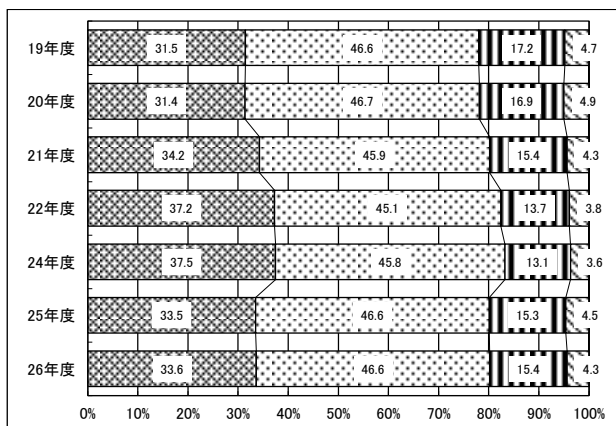


<児童生徒質問紙>

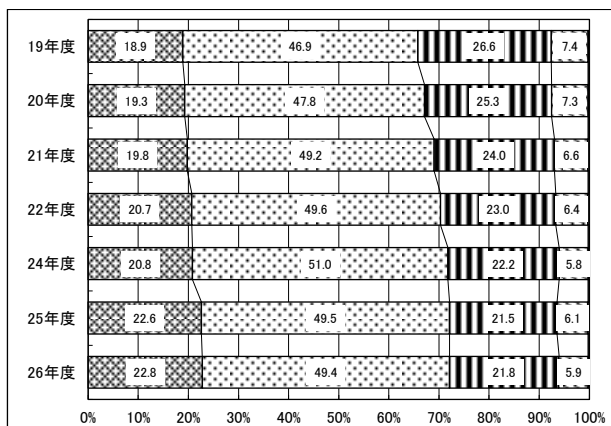
質問 52：国語の授業の内容はよく分かりますか

☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ☒ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

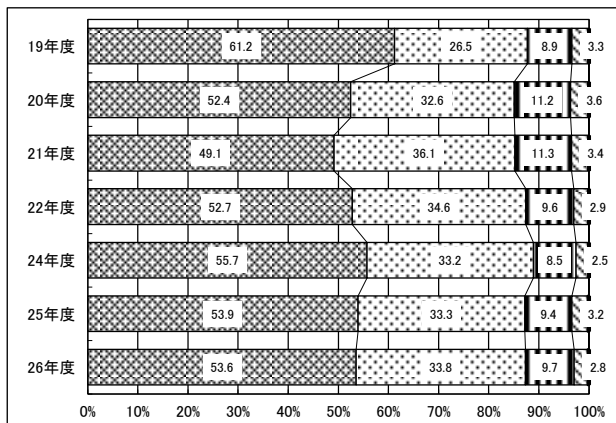


<児童生徒質問紙>

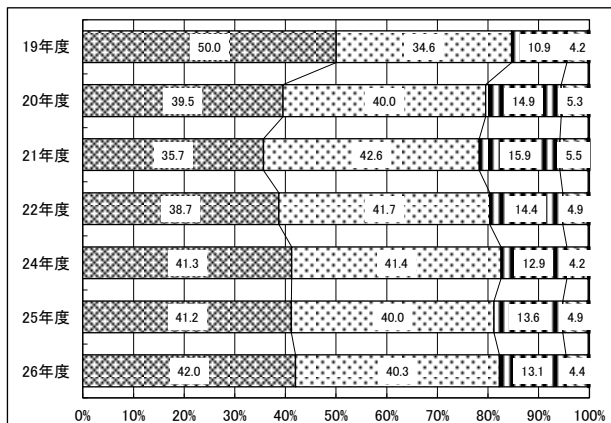
質問 54：国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ☒ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】



《算数・数学》

【小学校】

○以下と回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

- ・算数の勉強は好き
- ・算数の勉強は大切だと思う
- ・算数の授業の内容はよく分かる
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

【中学校】

○以下と回答している生徒の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

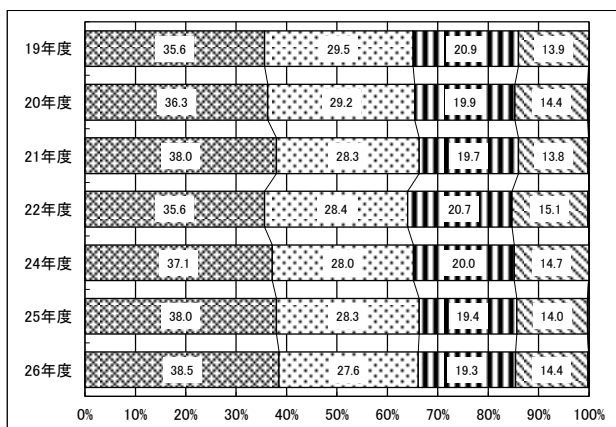
- ・数学の勉強は好き
- ・数学の勉強は大切だと思う
- ・数学の授業の内容はよく分かる
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

<児童生徒質問紙>

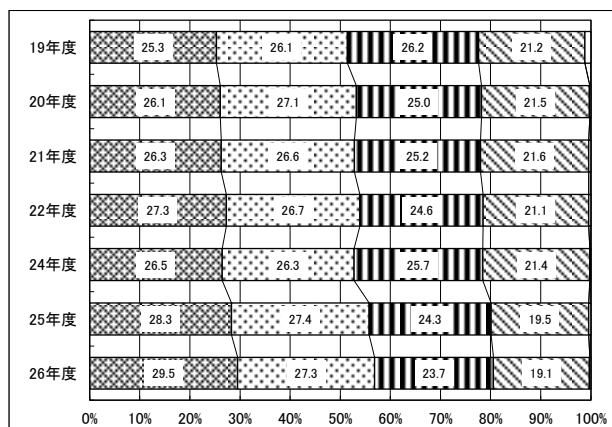
質問 62：算数・数学の勉強は好きですか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

【小学校】



【中学校】

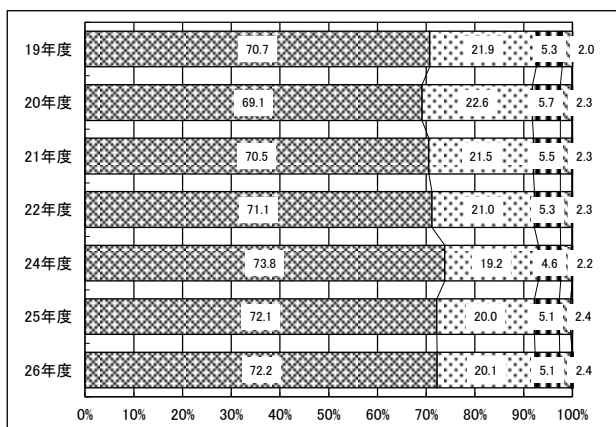


<児童生徒質問紙>

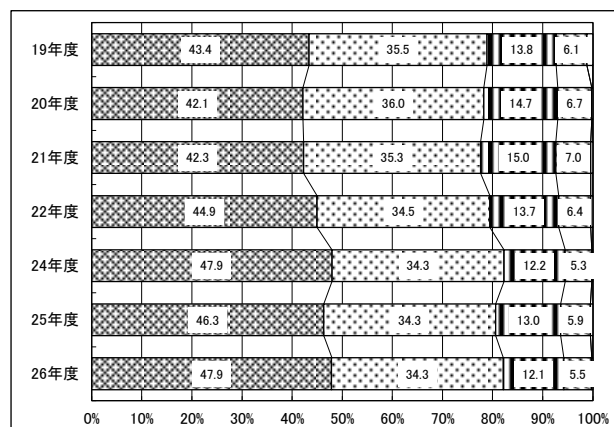
質問 63：算数・数学の勉強は大切だと思いますか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

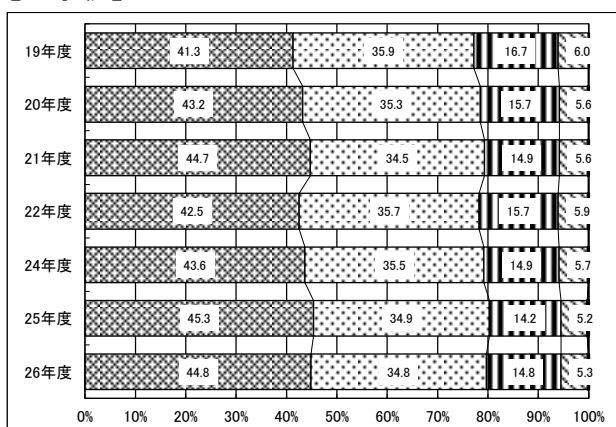


<児童生徒質問紙>

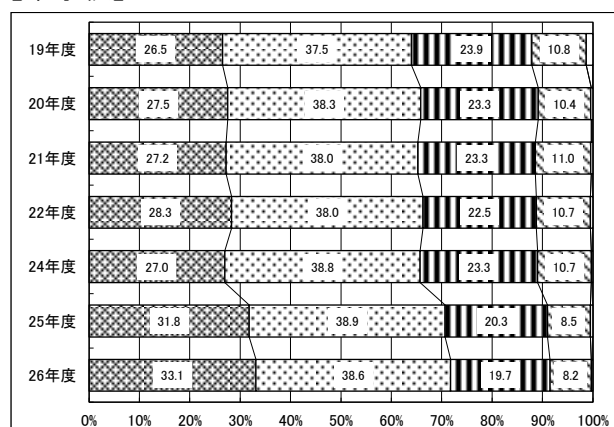
質問 64：算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

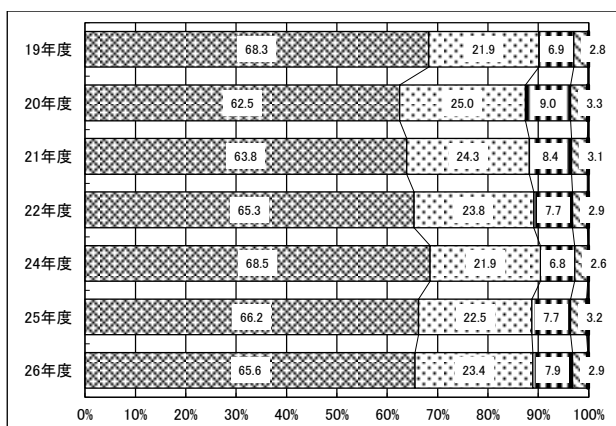


<児童生徒質問紙>

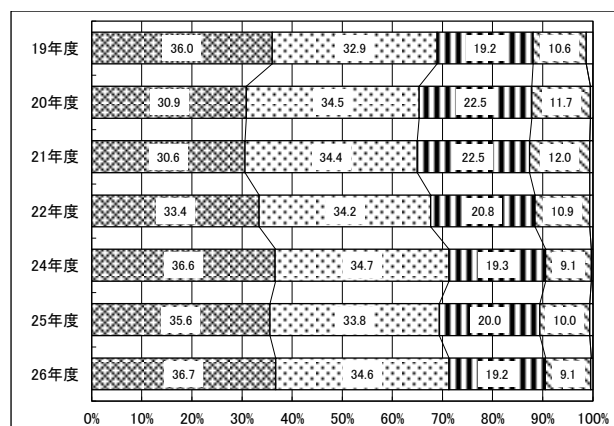
質問 68：算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない ☐ その他 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】



《総合的な学習の時間》

【小学校】【中学校】

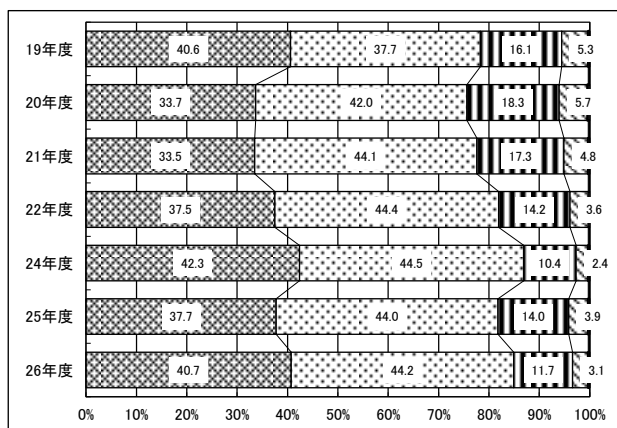
○総合的な学習の時間の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思うと回答している児童生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。

＜児童生徒質問紙＞

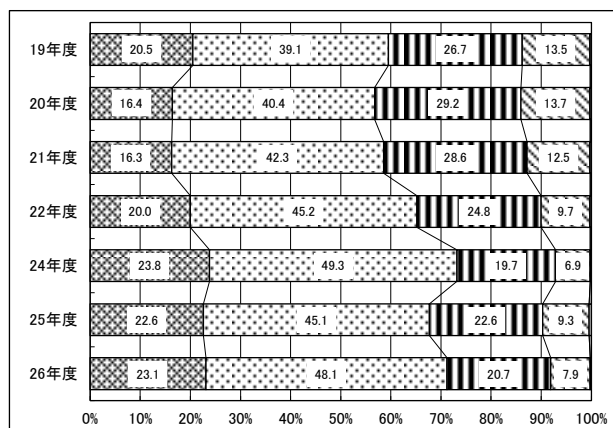
質問 39：「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまらない ☐ 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

【小学校】



【中学校】

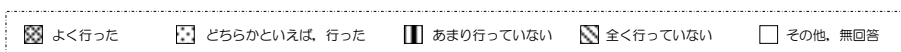


【小学校】【中学校】

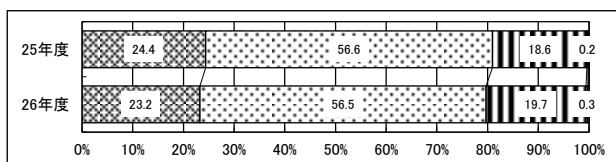
- 総合的な学習の時間において課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- このような指導を行った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答している児童生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 学校と児童生徒の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童生徒の割合は、25年度と比べ低くなっている。

<学校質問紙>

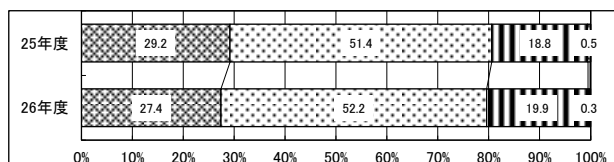
質問 42：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



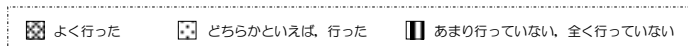
【小学校】



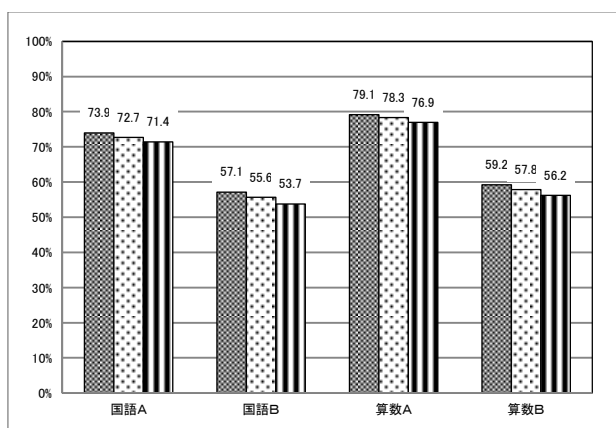
【中学校】



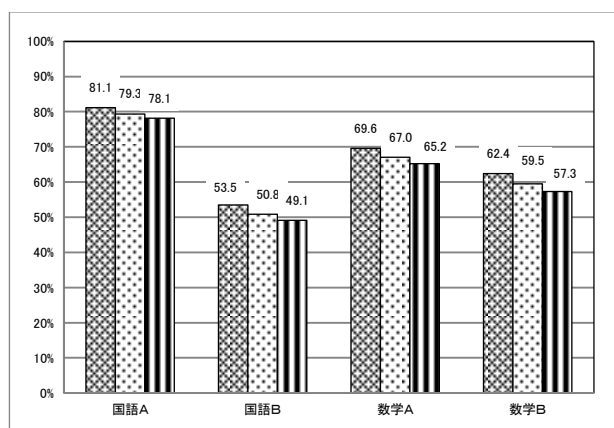
〔教科の平均正答率との関係〕



【小学校】



【中学校】

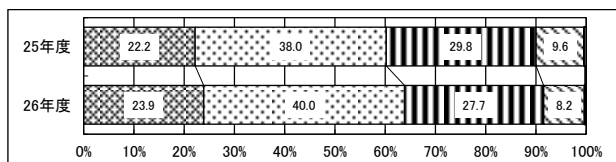


<児童生徒質問紙>

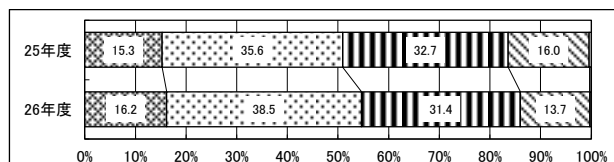
質問 40 : 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

☒ 当てはまる ☐ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

【小学校】



【中学校】



〔学校と児童生徒の回答状況の比較〕

* 「総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした」(学校質問紙：42)と回答している学校における児童生徒の回答状況

【小学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における児童の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
小学校 の回答	①よく行った	28.2(1.9)	40.4(1.0)	24.6(▲1.8)	6.7(▲0.9)
	②どちらかといえば、行った	23.7(1.8)	40.2(2.3)	27.8(▲2.4)	8.1(▲1.7)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【中学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における生徒の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
中学校 の回答	①よく行った	21.2(1.2)	41.5(2.7)	27.0(▲1.7)	10.1(▲2.2)
	②どちらかといえば、行った	15.7(1.1)	38.6(3.0)	31.8(▲1.6)	13.7(▲2.4)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

学習及び指導の状況

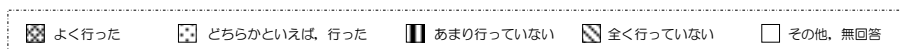
《言語活動等》

【小学校】【中学校】

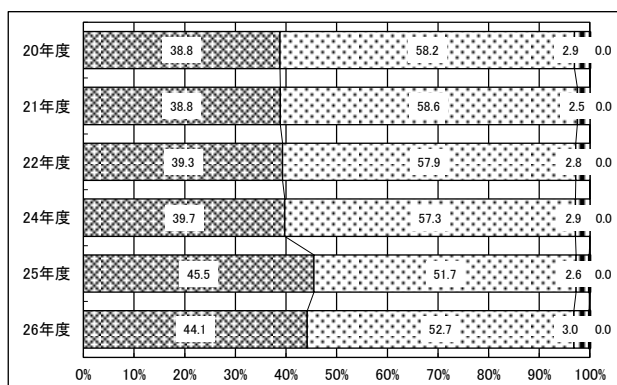
- 発言や活動の時間を確保して授業を進めた学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- このような取組を行った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思うと回答している児童生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 学校と児童生徒の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童生徒の割合は、25年度と比べ低くなっている。

<学校質問紙>

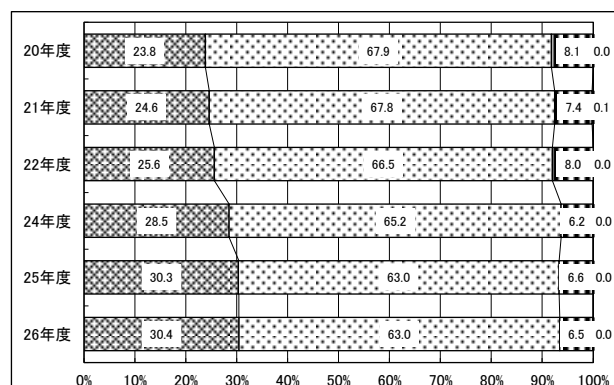
質問 32：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



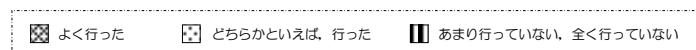
【小学校】



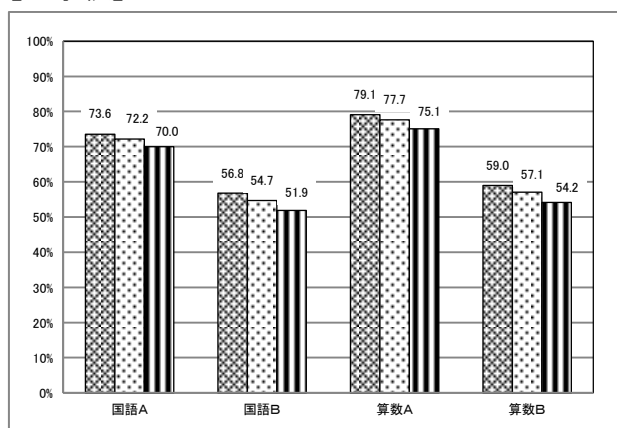
【中学校】



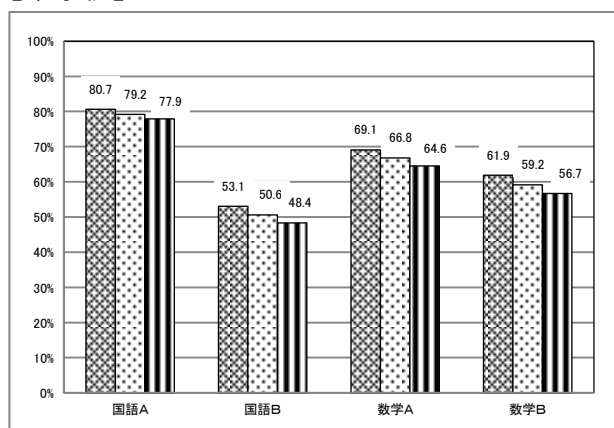
〔教科の平均正答率との関係〕



【小学校】



【中学校】

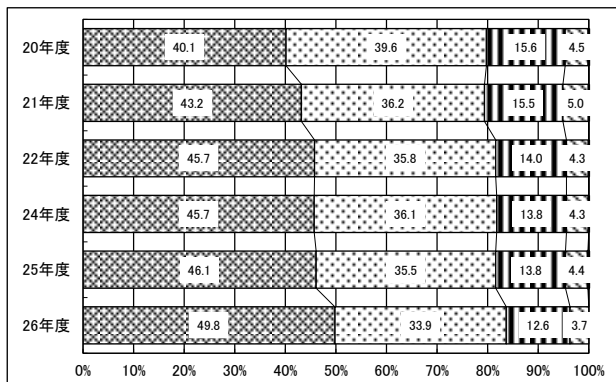


<児童生徒質問紙>

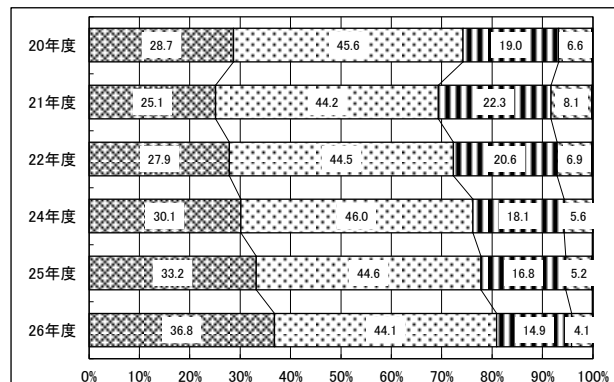
質問 42：5年生までに・1，2年生のときに受けた授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

☐ 当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 当てはまらない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】



〔学校と児童生徒の回答状況の比較〕

* 「発言や活動の時間を確保して授業を進めた」(学校質問紙：32)と回答している学校における児童生徒の回答状況

【小学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における児童の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
小学校 の回答	①よく行った	51.4(3.6)	33.4(▲1.7)	11.8(▲1.2)	3.3(▲0.7)
	②どちらかといえば、行った	48.7(3.8)	34.3(▲1.5)	13.0(▲1.4)	3.9(▲0.8)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【中学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における生徒の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
中学校 の回答	①よく行った	40.0(3.5)	43.4(▲0.9)	13.2(▲1.6)	3.4(▲0.9)
	②どちらかといえば、行った	36.0(3.5)	44.3(▲0.5)	15.3(▲1.9)	4.2(▲1.1)

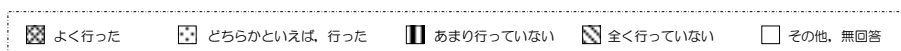
※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【小学校】【中学校】

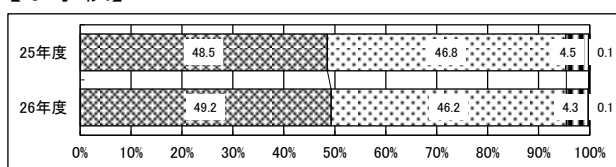
- 学級やグループで話し合う活動を授業などで行った学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- このような取組を行った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- 学級の友達との間・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思うと回答している児童生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。
- 学校と児童生徒の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童生徒の割合は、25年度と比べ低くなっている。

<学校質問紙>

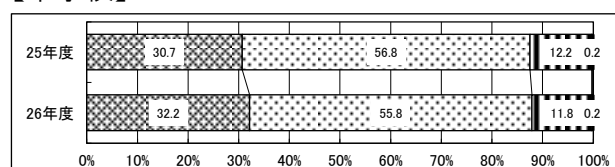
質問 38：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか



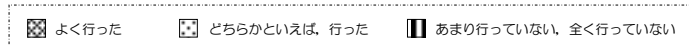
【小学校】



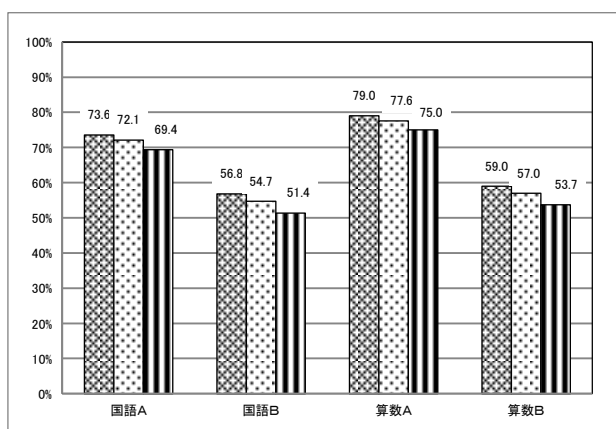
【中学校】



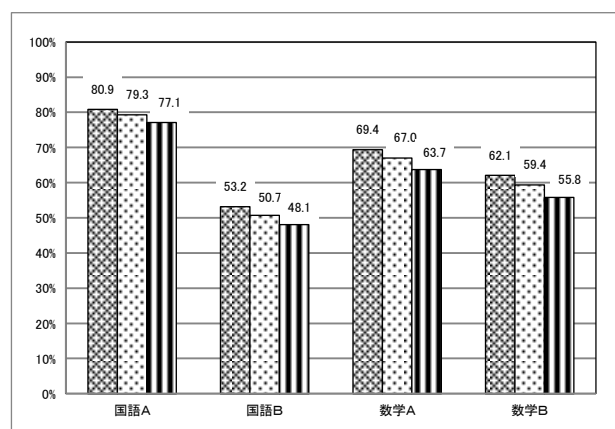
〔教科の平均正答率との関係〕



【小学校】



【中学校】

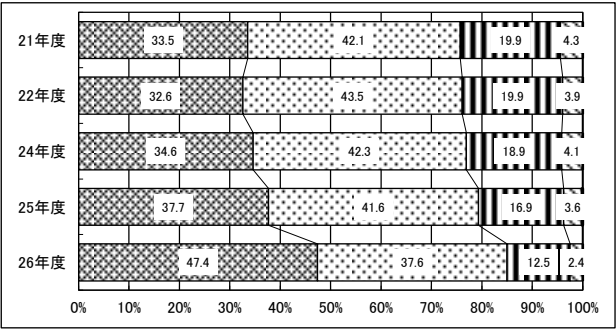


<児童生徒質問紙>

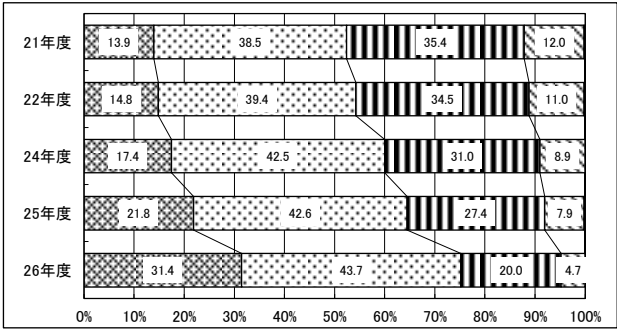
質問 43：5年生までに・1，2年生のときに受けた授業では，学級の友達との間・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



【小学校】



【中学校】



〔学校と児童生徒の回答状況の比較〕

*「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」（学校質問紙：38）と回答している学校における児童生徒の回答状況

【小学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における児童の回答割合			
		① 当てはまる	② どちらかといえば、当てはまる	③ どちらかといえば、当てはまらない	④ 当てはまらない
小学校 の回答	①よく行った	49.5(9.8)	36.7(▲4.5)	11.5(▲4.2)	2.2(▲1.0)
	②どちらかといえば、行った	45.5(9.7)	38.4(▲3.6)	13.3(▲4.7)	2.7(▲1.2)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【中学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における生徒の回答割合			
		① 当てはまる	② どちらかといえば、当てはまる	③ どちらかといえば、当てはまらない	④ 当てはまらない
中学校 の回答	①よく行った	38.7(10.1)	42.3(▲1.3)	15.6(▲6.5)	3.2(▲2.3)
	②どちらかといえば、行った	29.6(9.5)	44.7(1.6)	20.8(▲7.7)	4.8(▲3.3)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【小学校】【中学校】

○学級の友達との間・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと回答している児童生徒の割合

小学校：約 66% 中学校：約 62%

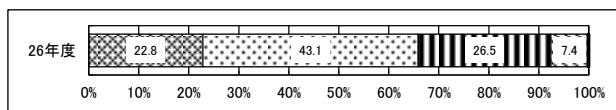
○これらのことができていると思うと回答している児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。

<児童生徒質問紙>

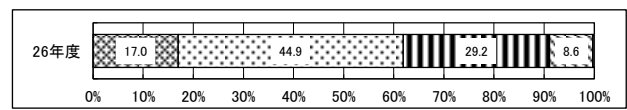
質問 48：学級の友達との間・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか(新規)

☒ そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思わない
 ☒ そう思わない
 ☒ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



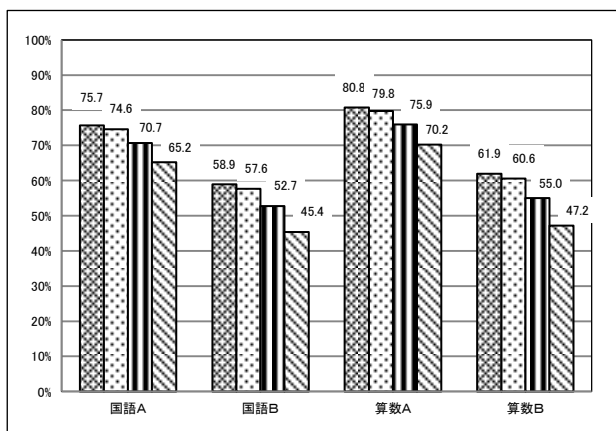
【中学校】



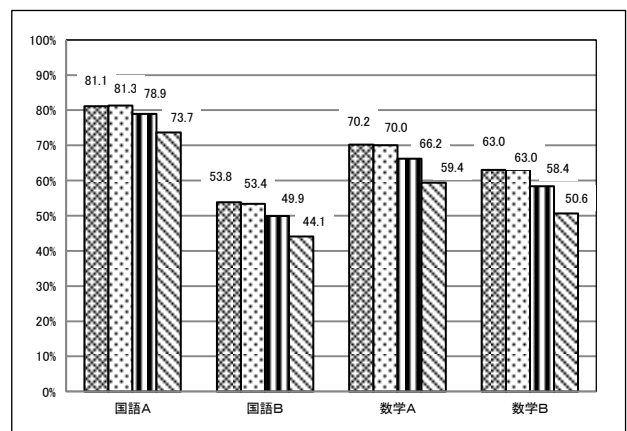
〔教科の平均正答率との関係〕

☒ そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思わない
 ☒ そう思わない

【小学校】



【中学校】



【小学校】【中学校】

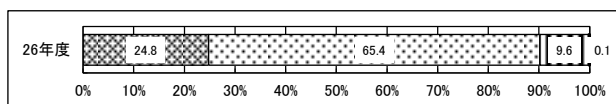
- 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた学校の割合
小学校：約 90% 中学校：約 85%
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動(小学校のみ)、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる学校の割合
小学校：約 90% 中学校：約 85%
- これらの取組を行った学校の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

<学校質問紙>

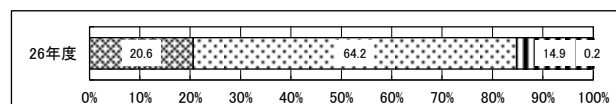
質問 30：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか(新規)

よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない 全く行っていない その他、無回答

【小学校】



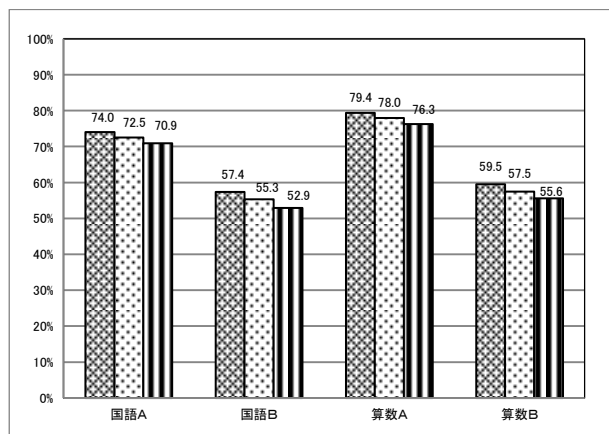
【中学校】



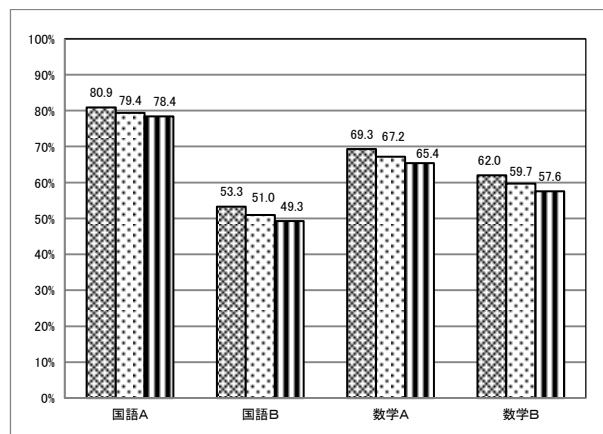
〔教科の平均正答率との関係〕

よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない、全く行っていない

【小学校】



【中学校】



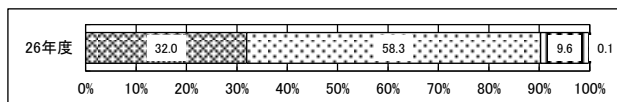
<学校質問紙>

質問 97(95) : 【小学校】言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか (新規)

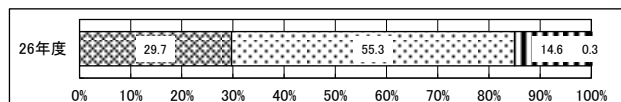
【中学校】言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか (新規)

☒ よくしている
 ☒ どちらかといえば、している
 ☒ あまりしていない
 ☒ 全くしていない
 ☐ その他、無回答

【小学校】



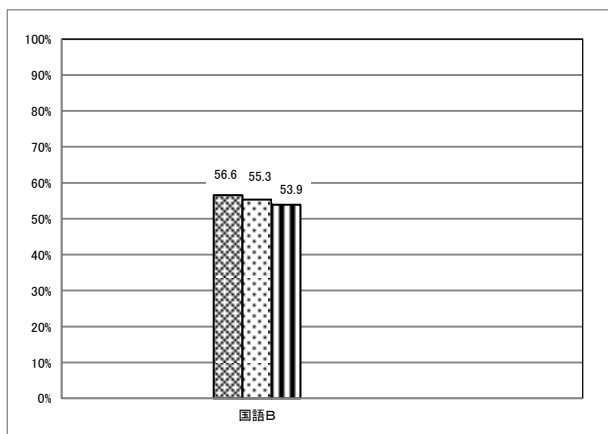
【中学校】



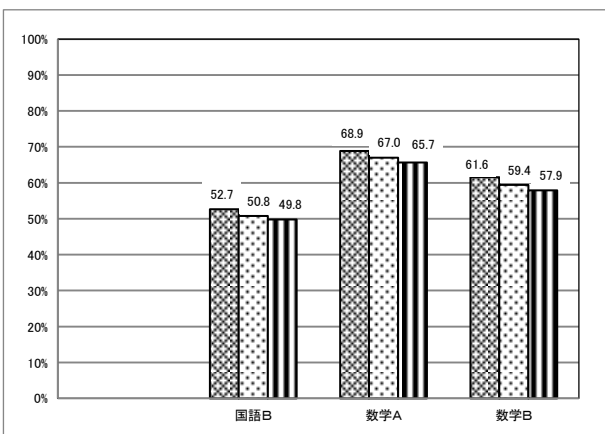
〔教科の平均正答率との関係〕

☒ よくしている
 ☒ どちらかといえば、している
 ☒ あまりしていない、全くしていない

【小学校】



【中学校】



《指導の状況》

【小学校】

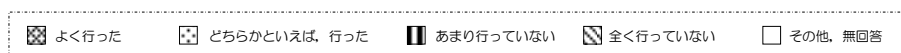
- 授業の冒頭で目標を児童に示す活動を計画的に取り入れた学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- このような取組を行った学校の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
- 授業のはじめに目標が示されていたと思うと回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- 学校と児童の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童の割合は、25年度と比べ高くなっている。

【中学校】

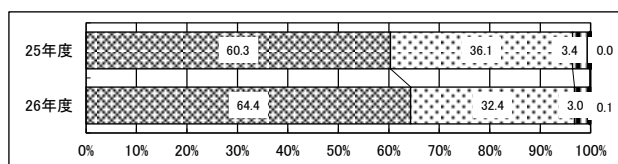
- 授業の冒頭で目標を生徒に示す活動を計画的に取り入れた学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- 授業のはじめに目標が示されていたと思うと回答している生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 学校と生徒の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない生徒の割合は、25年度と比べ低くなっている。

＜学校質問紙＞

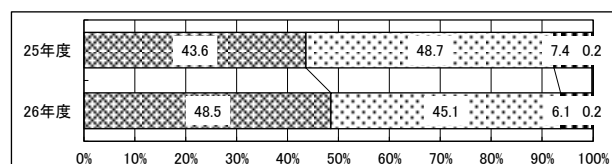
質問 28：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れ了吗か



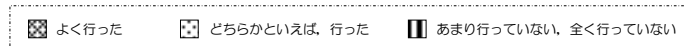
【小学校】



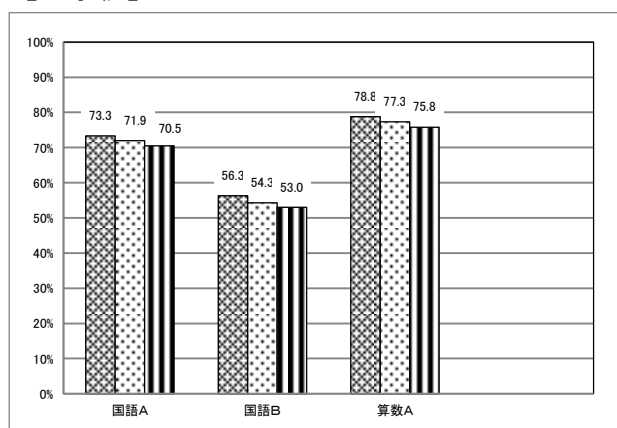
【中学校】



〔教科の平均正答率との関係〕

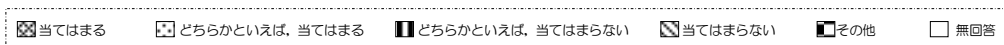


【小学校】

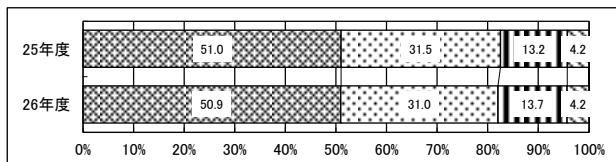


<児童生徒質問紙>

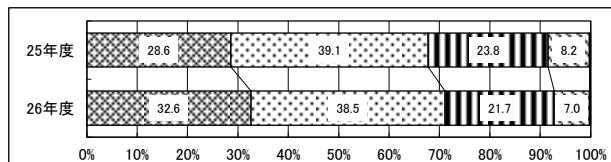
質問 44：5年生までに・1，2年生のときに受けた授業のはじめに，目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか



【小学校】



【中学校】



〔学校と児童生徒の回答状況の比較〕

* 「授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れた」(学校質問紙：28)と回答している学校における児童生徒の回答状況

【小学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における児童の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
小学校 の回答	①よく行った	54.3(▲0.7)	29.7(▲0.1)	12.3(0.8)	3.6(0.1)
	②どちらかといえば、行った	45.7(▲0.3)	33.2(▲0.4)	16.0(0.8)	5.0(▲0.1)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【中学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における生徒の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
中学校 の回答	①よく行った	40.8(3.1)	37.1(▲0.7)	17.0(▲1.5)	5.0(▲0.8)
	②どちらかといえば、行った	26.3(3.5)	39.9(▲0.4)	25.1(▲2.0)	8.5(▲1.1)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【小学校】

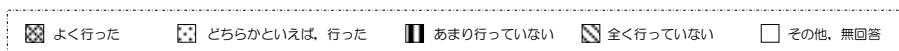
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- このような取組を行った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと回答している児童の割合は、25年度と比べやや低くなっている。
- 学校と児童の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童の割合は、25年度と比べ高くなっている。

【中学校】

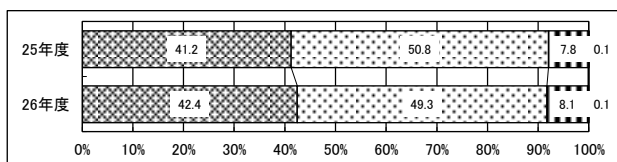
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと回答している生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 学校と生徒の回答状況を比較すると、学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない生徒の割合は、25年度と比べ低くなっている。

<学校質問紙>

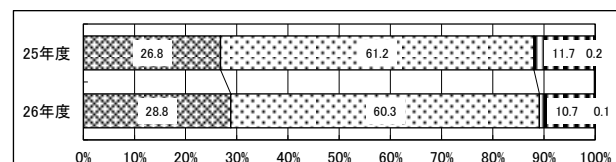
質問 29：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に、学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れえましたか



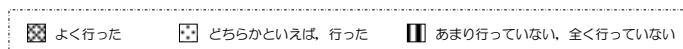
【小学校】



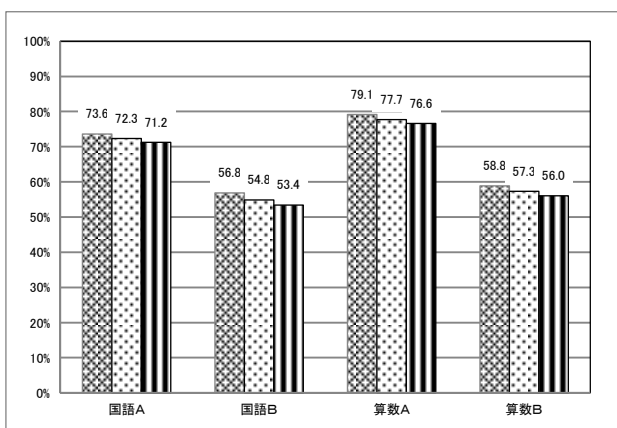
【中学校】



〔教科の平均正答率との関係〕



【小学校】

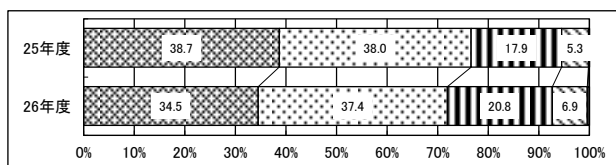


<児童生徒質問紙>

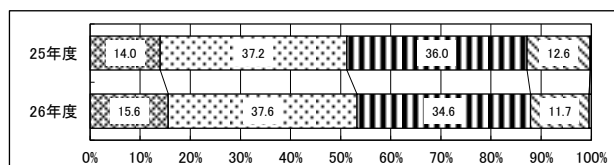
質問 45：5年生までに・1，2年生のときに受けた授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

☒ 当てはまる ☒ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ☒ 当てはまらない ■ その他 □ 無回答

【小学校】



【中学校】



〔学校と児童生徒の回答状況の比較〕

* 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」(学校質問紙：29)と回答している学校における児童生徒の回答状況

【小学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における児童の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
小学校 の回答	①よく行った	37.3(▲4.1)	37.2(▲0.2)	19.1(2.7)	6.1(1.4)
	②どちらかといえば、行った	33.1(▲4.2)	37.5(▲0.9)	21.7(3.1)	7.4(1.9)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

【中学校】

		「①よく行った」「②どちらかといえば、行った」と回答した学校における生徒の回答割合			
		①当てはまる	②どちらかといえば、当てはまる	③どちらかといえば、当てはまらない	④当てはまらない
中学校 の回答	①よく行った	18.6(1.4)	39.7(0.3)	31.9(▲1.0)	9.5(▲0.8)
	②どちらかといえば、行った	14.8(1.7)	37.2(0.3)	35.4(▲1.3)	12.2(▲0.8)

※()内の数値は、25年度の回答割合からの増減を表す。

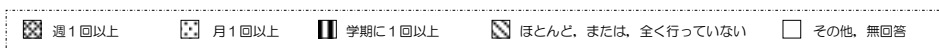
《コンピュータなどを活用した教育》

【小学校】【中学校】

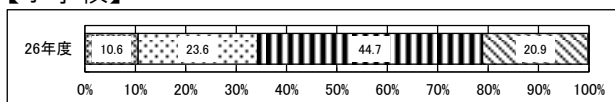
- 国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行った学校の割合
小学校：約 79% 中学校：約 46%
- 算数・数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行った学校の割合
小学校：約 75% 中学校：約 53%

<学校質問紙>

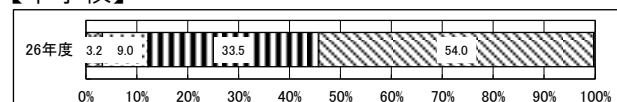
質問 45：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか（新規）



【小学校】

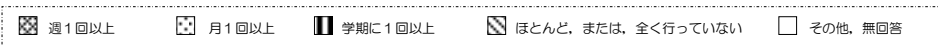


【中学校】

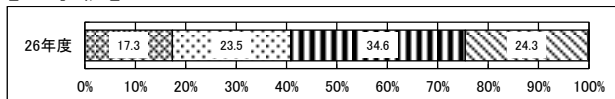


<学校質問紙>

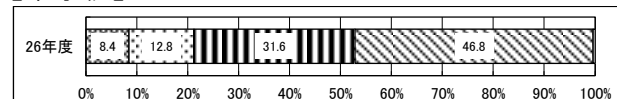
質問 46：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、算数・数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか（新規）



【小学校】



【中学校】



学校生活等

【小学校】

- 学校に行くのは楽しいと思うと回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- 学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたときの対応について、児童の回答状況は以下のとおり。
 - ・家の人に相談することが多いと回答している児童の割合 約47%
 - ・友達に相談することが多いと回答している児童の割合 約27%
 - ・誰にも相談しないと回答している児童の割合 約21%
 - ・先生に相談することが多いと回答している児童の割合 約5%
 - ・保健室の先生、あるいはスクールカウンセラーに相談することが多いと回答している児童の割合 約1%

【中学校】

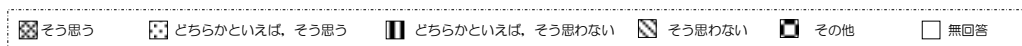
- 学校に行くのは楽しいと思うと回答している生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたときの対応について、生徒の回答状況は以下のとおり。
 - ・友達に相談することが多いと回答している生徒の割合 約45%
 - ・誰にも相談しないと回答している生徒の割合 約27%
 - ・家の人に相談することが多いと回答している生徒の割合 約24%
 - ・先生に相談することが多いと回答している生徒の割合 約3%
 - ・保健室の先生、あるいはスクールカウンセラーに相談することが多いと回答している生徒の割合 約1%

【小学校】【中学校】

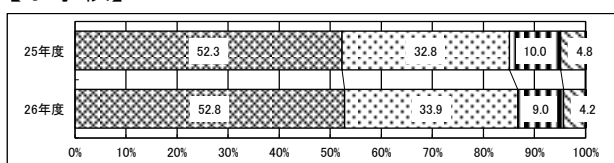
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると回答している児童生徒の割合
小学校：約87% 中学校：約84%
- 先生は自分のよいところを認めてくれていると思うと回答している児童生徒の割合
小学校：約80% 中学校：約74%
- 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、積極的に評価したと回答している学校の割合
小学校：約97% 中学校：約97%

<児童生徒質問紙>

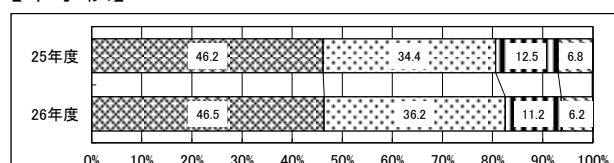
質問 25：学校に行くのは楽しいと思いますか



【小学校】



【中学校】

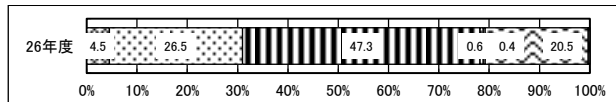


<児童生徒質問紙>

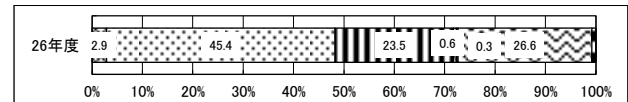
質問 26：学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたら、誰に相談することが多いですか(新規)

先生 友達 家の人(兄弟姉妹を含む) 保健室の先生 スクールカウンセラー 誰にも相談しない その他 無回答

【小学校】



【中学校】

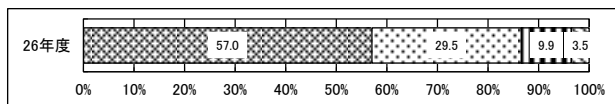


<児童生徒質問紙>

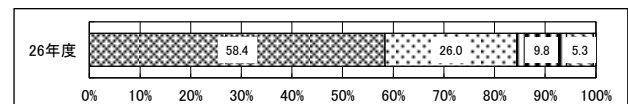
質問 27：学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか(新規)

当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他 無回答

【小学校】



【中学校】

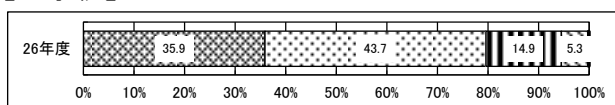


<児童生徒質問紙>

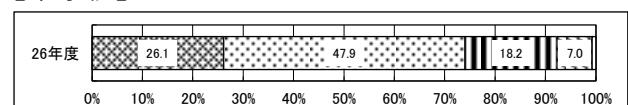
質問 28：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(新規)

当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない その他 無回答

【小学校】



【中学校】

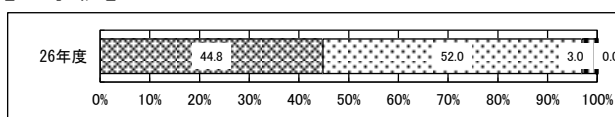


<学校質問紙>

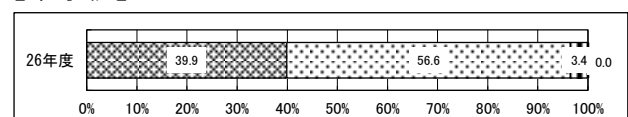
質問 34：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか(新規)

よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない 全く行っていない その他、無回答

【小学校】



【中学校】



学習習慣

《学習時間》

【小学校】

○以下と回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

- ・学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする
- ・学習塾で勉強をしている

【中学校】

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をすると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

○以下と回答している生徒の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

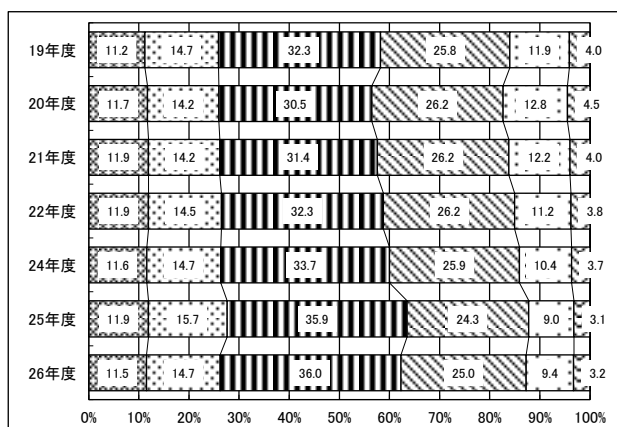
- ・学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする
- ・学習塾で勉強をしている

<児童生徒質問紙>

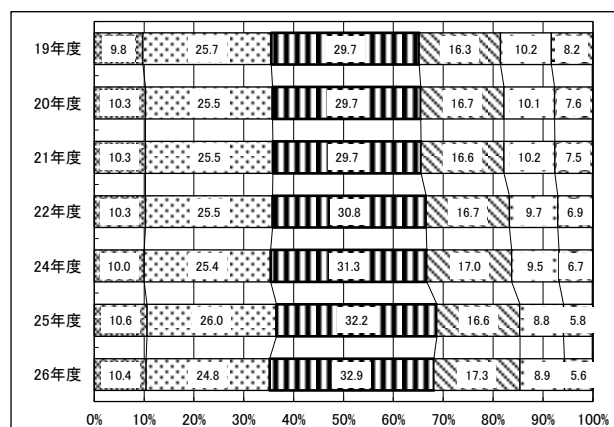
質問 14：学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

3時間以上
 2時間以上、3時間より少ない
 1時間以上、2時間より少ない
 30分以上、1時間より少ない
 30分より少ない
 全くしない
 その他
 無回答

【小学校】



【中学校】

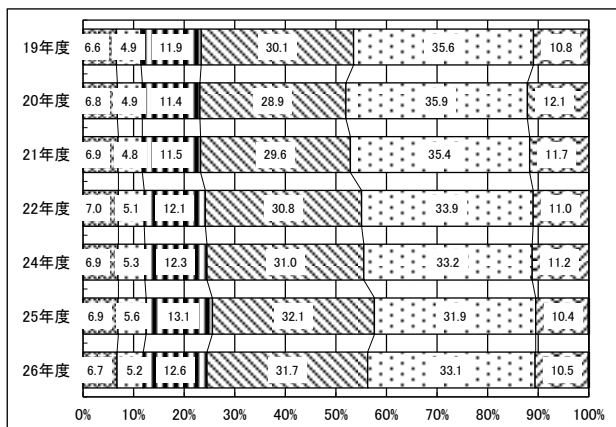


<児童生徒質問紙>

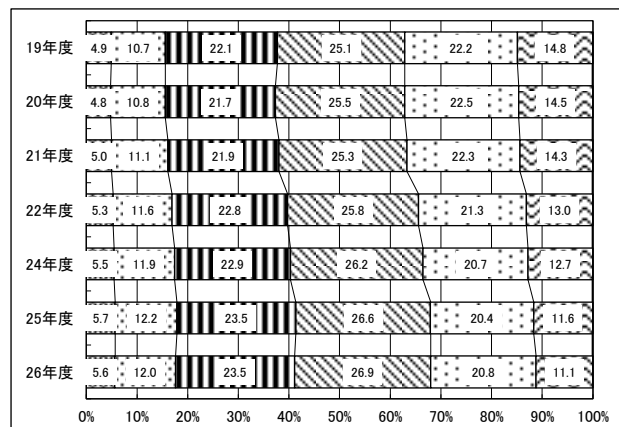
質問 15：土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

4時間以上 3時間以上、4時間より少ない 2時間以上、3時間より少ない 1時間以上、2時間より少ない 1時間より少ない 全くしない その他 無回答

【小学校】



【中学校】

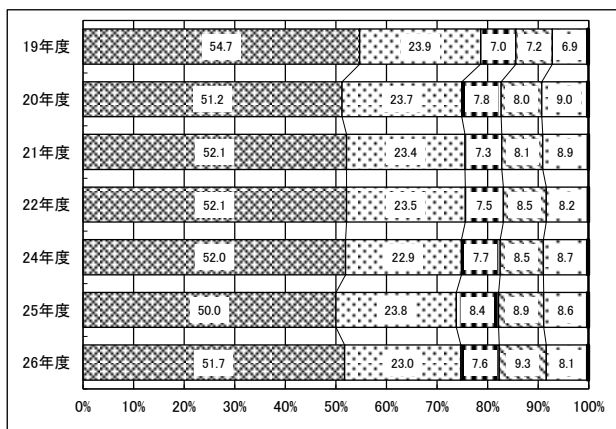


<児童生徒質問紙>

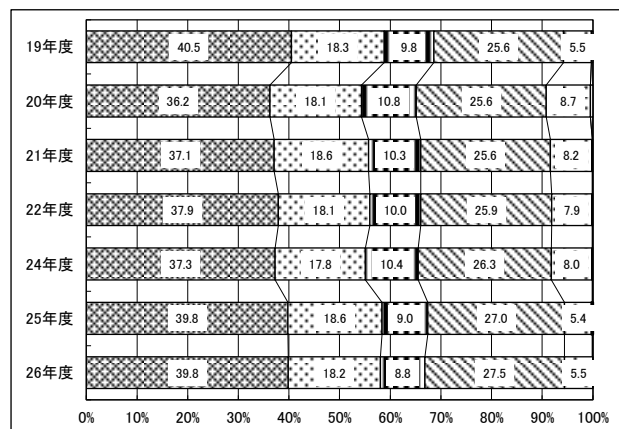
質問 16：学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか

学習塾に通っていない 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している② 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している③ ②、③の両方の内容を勉強している ②、③の内容のどちらともいえない その他 無回答

【小学校】



【中学校】



《家庭学習》

【小学校】

○家で学校の授業の復習をしていると回答している児童の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

○家で学校の宿題をしていると回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

【中学校】

○以下と回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

- ・家で学校の宿題をしている
- ・家で学校の授業の復習をしている

【小学校】【中学校】

○保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った学校の割合

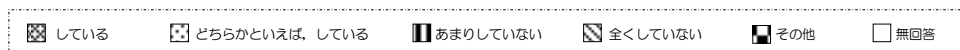
小学校：約96% 中学校：約85%

○家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合

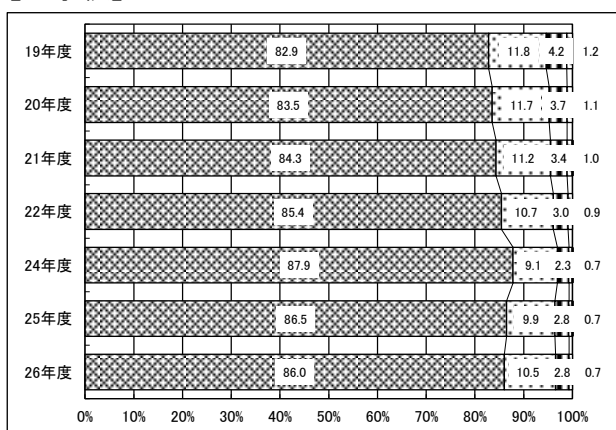
小学校：約85% 中学校：約77%

<児童生徒質問紙>

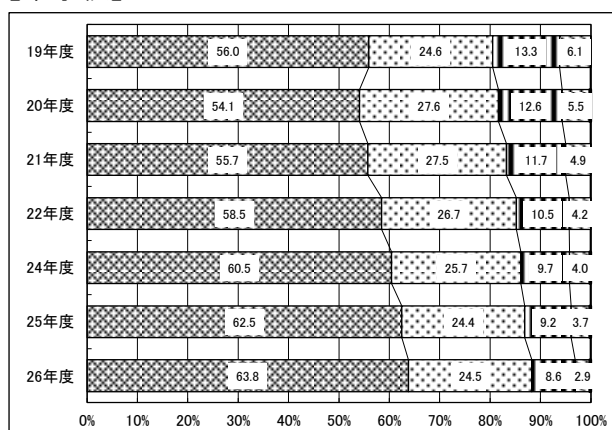
質問22：家で、学校の宿題をしていますか



【小学校】

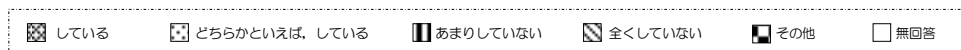


【中学校】

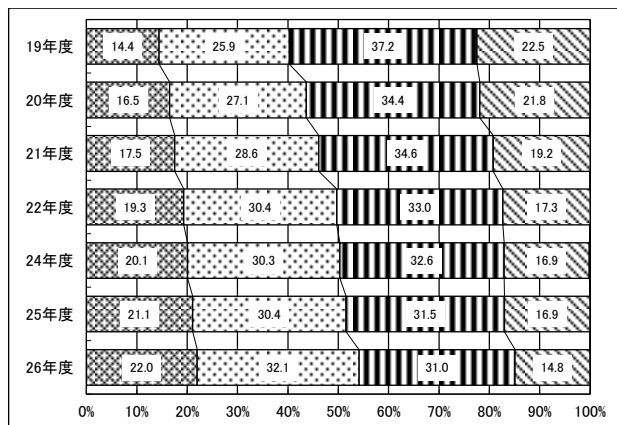


<児童生徒質問紙>

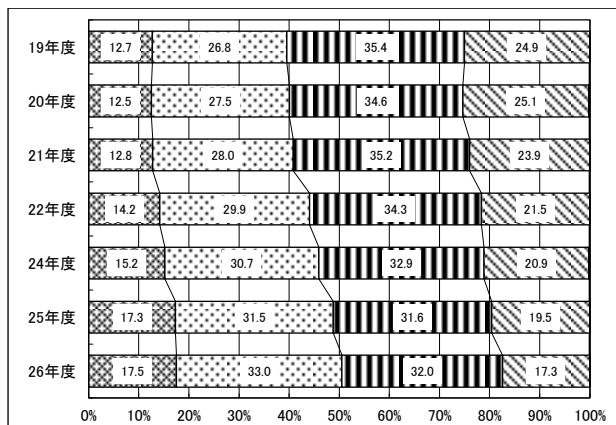
質問 24：家で、学校の授業の復習をしていますか



【小学校】

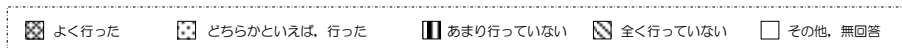


【中学校】

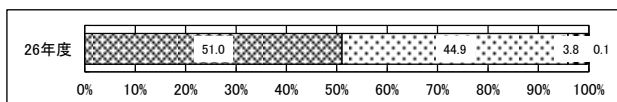


<学校質問紙>

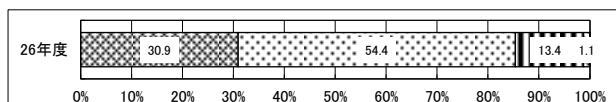
質問 84(82)：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語／算数・数学共通)(新規)



【小学校】

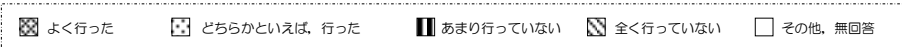


【中学校】

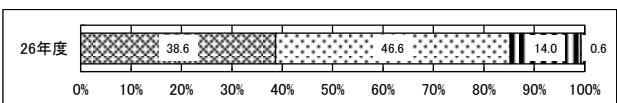


<学校質問紙>

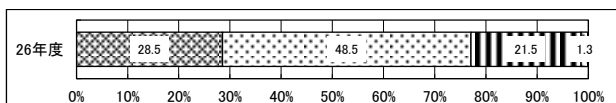
質問 85(83)：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語／算数・数学共通)(新規)



【小学校】



【中学校】



生活習慣

【小学校】

- 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上テレビゲームをすると回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。
- 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすると回答している児童の割合は、約15%である。
- これらの時間が短い児童の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。

【中学校】

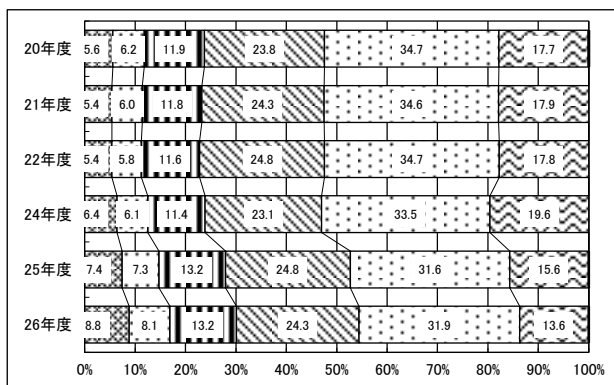
- 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上テレビゲームをすると回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。
- 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすると回答している生徒の割合は、約48%である。
- これらの時間が短い生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られる。

<児童生徒質問紙>

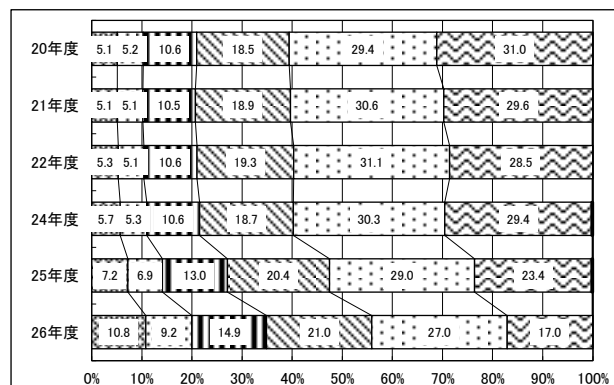
質問12：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

☒ 4時間以上
 ☒ 3時間以上、4時間より少ない
 ☒ 2時間以上、3時間より少ない
 ☒ 1時間以上、2時間より少ない
 ☒ 1時間より少ない
 ☒ 全くしない
 ☒ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



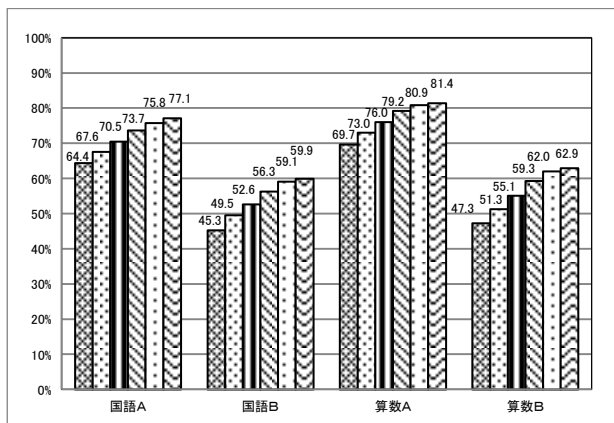
【中学校】



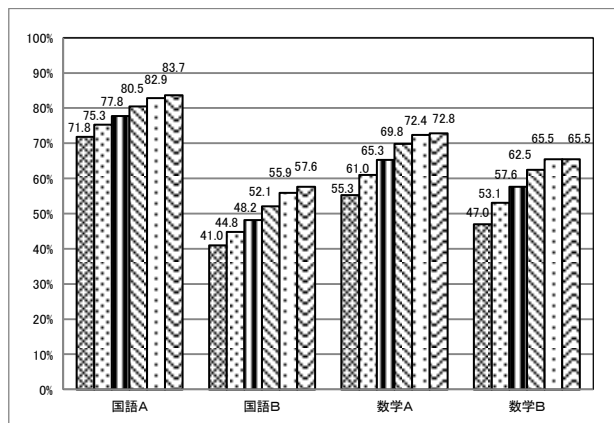
〔教科の平均正答率との関係〕

☒ 4時間以上
 ☒ 3時間以上、4時間より少ない
 ☒ 2時間以上、3時間より少ない
 ☒ 1時間以上、2時間より少ない
 ☒ 1時間より少ない
 ☒ 全くしない

【小学校】

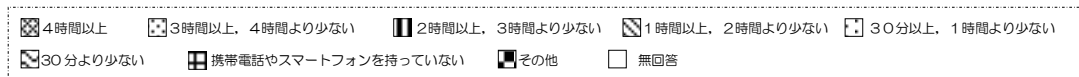


【中学校】

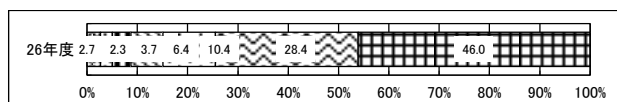


<児童生徒質問紙>

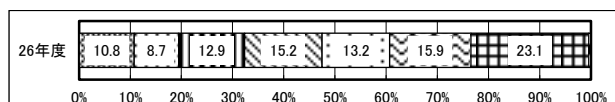
質問 13：普段(月～金曜日)，1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)(新規)



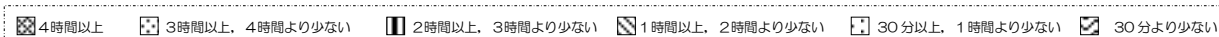
【小学校】



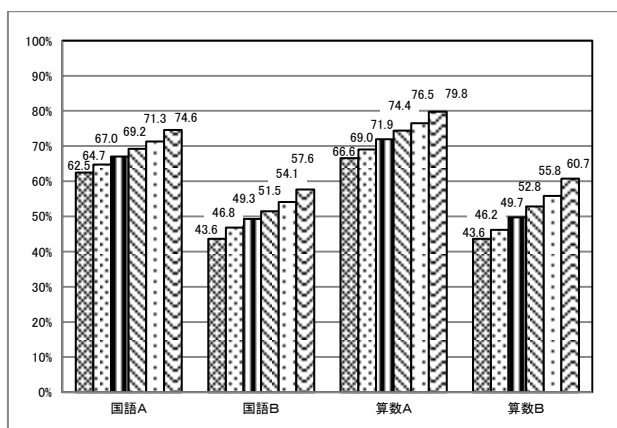
【中学校】



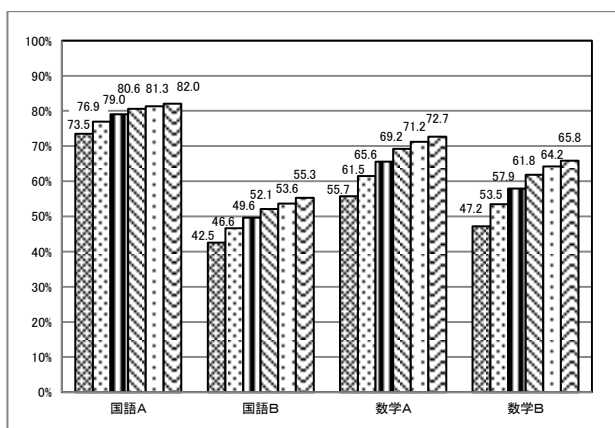
〔教科の平均正答率との関係〕



【小学校】



【中学校】



社会に対する興味・関心

【小学校】

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答している児童の割合は、25年度と比べ高くなっている。
- 新聞を読んでいると回答している児童の割合は、25年度と比べやや低くなっている。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ると回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

【中学校】

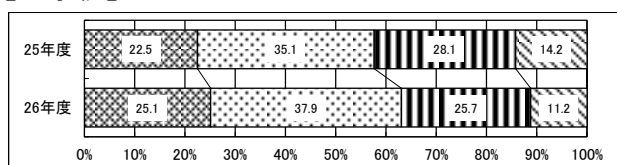
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答している生徒の割合は、25年度と比べやや高くなっている。
- 以下と回答している生徒の割合は、25年度と比べやや低くなっている。
 - ・新聞を読んでいる
 - ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

<児童生徒質問紙>

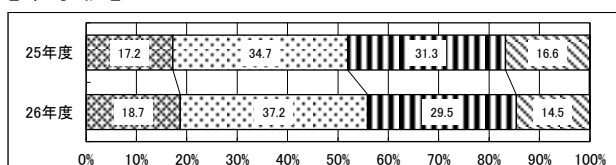
質問 30：地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

☒ 当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまる
 ☐ どちらかといえば、当てはまらない
 ☐ 当てはまらない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

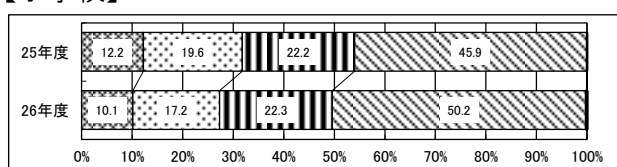


<児童生徒質問紙>

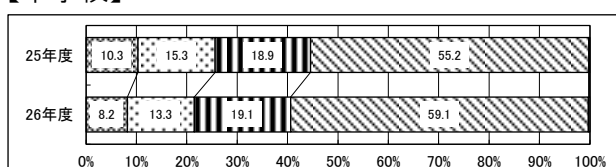
質問 32：新聞を読んでいますか

☒ ほぼ毎日読んでいる
 ☐ 週に1～3回程度読んでいる
 ☐ 月に1～3回程度読んでいる
 ☐ ほとんど、または、全く読まない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

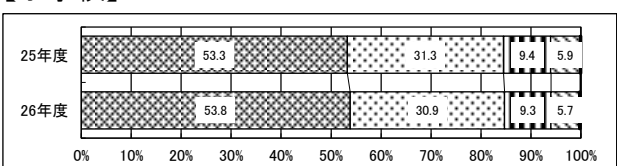


<児童生徒質問紙>

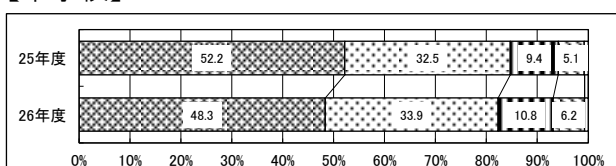
質問 33：テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）

☒ よく見る
 ☐ 時々見る
 ☐ あまり見ない
 ☐ ほとんど、または、全く見ない
 ☐ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】



規範意識

【小学校】

○以下と回答している児童の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

- ・学校のきまりを守っている
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

【中学校】

○以下と回答している生徒の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。

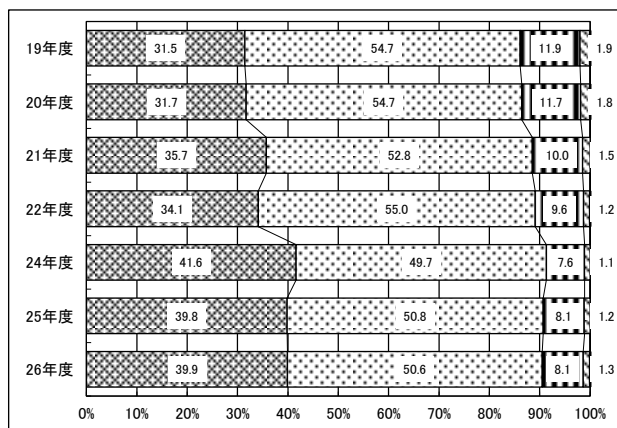
- ・学校の規則を守っている
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

<児童生徒質問紙>

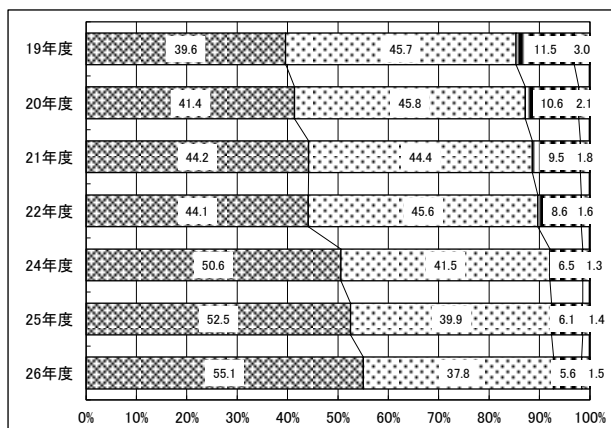
質問 34：学校のきまり・規則を守っていますか

☒ 当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまらない
 ☒ 当てはまらない
 ☒ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】

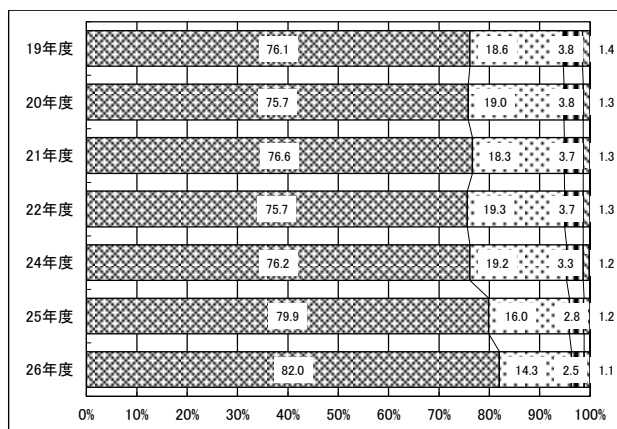


<児童生徒質問紙>

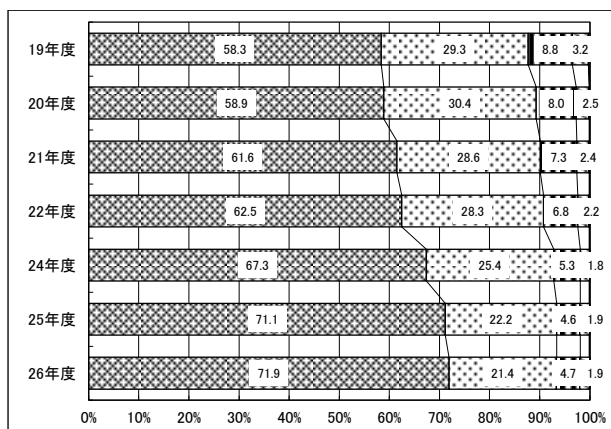
質問 37：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

☒ 当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまる
 ☒ どちらかといえば、当てはまらない
 ☒ 当てはまらない
 ☒ その他
 ☐ 無回答

【小学校】



【中学校】



地域との関わり

【小学校】【中学校】

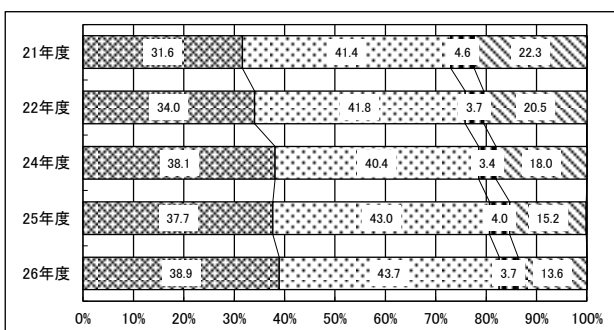
- 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれると回答している学校の割合に、調査開始年度以降、増加傾向がうかがえる。
- 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があったと回答している学校の割合は、25年度と比べ大きな変化は見られない。

<学校質問紙>

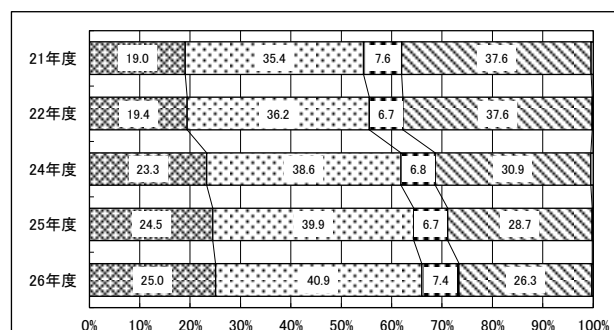
質問 78 (76) : 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人
が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか

☒ よく参加してくれる
 ☒ 参加してくれる
 ☒ あまり参加してくれない
 ☒ 学校支援ボランティアの仕組みがない
 ☐ その他、無回答

【小学校】



【中学校】

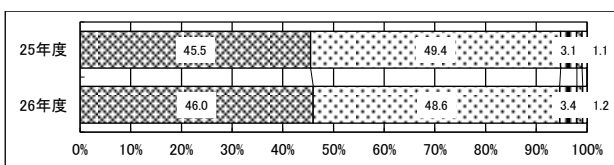


<学校質問紙>

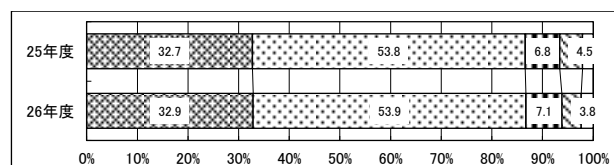
質問 79 (77) : 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

☒ そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思う
 ☒ どちらかといえば、そう思わない
 ☒ そう思わない
 ☐ その他、無回答

【小学校】



【中学校】



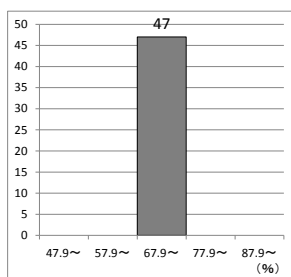
4. 都道府県状況（公立）

全国平均と比較した都道府県状況

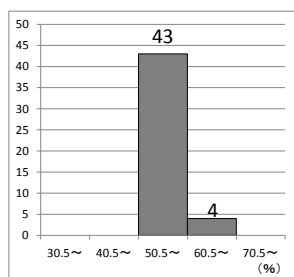
○都道府県状況(公立)については、平均正答率を見ると、25年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない。

【小学校調査】 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：都道府県数）

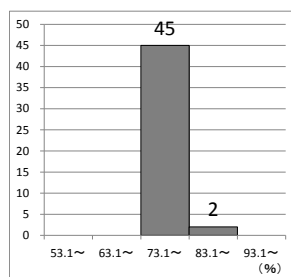
〔国語A〕



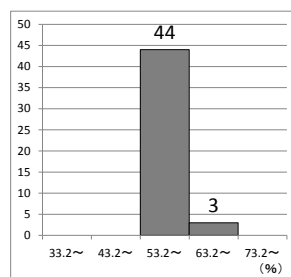
〔国語B〕



〔算数A〕



〔算数B〕

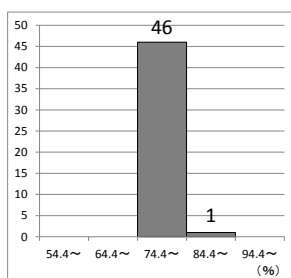


	全国（公立）の 平均正答率	47都道府県（公立）中、 最高平均正答率 【全国との差】	47都道府県（公立）中、 最低平均正答率 【全国との差】
国語A	72.9%	77.4% 【+4.5%】	69.4% 【-3.5%】
国語B	55.5%	67.3% 【+11.8%】	52.4% 【-3.1%】

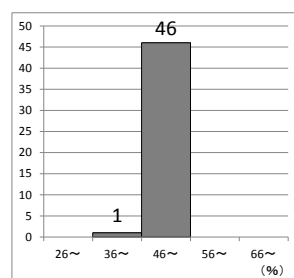
	全国（公立）の 平均正答率	47都道府県（公立）中、 最高平均正答率 【全国との差】	47都道府県（公立）中、 最低平均正答率 【全国との差】
算数A	78.1%	85.1% 【+7.0%】	75.6% 【-2.5%】
算数B	58.2%	66.2% 【+8.0%】	55.2% 【-3.0%】

【中学校調査】 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：都道府県数）

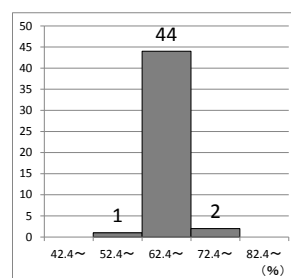
〔国語A〕



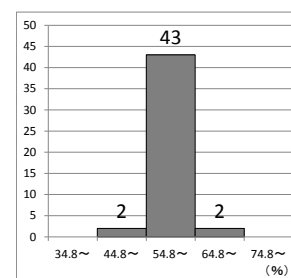
〔国語B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



	全国（公立）の 平均正答率	47都道府県（公立）中、 最高平均正答率 【全国との差】	47都道府県（公立）中、 最低平均正答率 【全国との差】
国語A	79.4%	84.4% 【+5.0%】	74.4% 【-5.0%】
国語B	51.0%	55.9% 【+4.9%】	45.6% 【-5.4%】

	全国（公立）の 平均正答率	47都道府県（公立）中、 最高平均正答率 【全国との差】	47都道府県（公立）中、 最低平均正答率 【全国との差】
数学A	67.4%	74.3% 【+6.9%】	58.2% 【-9.2%】
数学B	59.8%	66.9% 【+7.1%】	50.3% 【-9.5%】

都道府県別・平均正答数一覧

平均正答数（問）

	小学校				中学校			
	国語A <15問>	国語B <10問>	算数A <17問>	算数B <13問>	国語A <32問>	国語B <9問>	数学A <36問>	数学B <15問>
全国 (国公私立)	11.0	5.6	13.3	7.6	25.5	4.6	24.5	9.1
全国 (公立)	10.9	5.5	13.3	7.6	25.4	4.6	24.3	9.0
北海道	10.8	5.3	12.9	7.2	25.4	4.5	23.8	8.9
青森県	11.5	6.0	13.8	7.9	25.9	4.7	25.0	9.1
岩手県	11.1	5.8	13.4	7.6	25.8	4.7	23.1	8.6
宮城県	11.1	5.4	13.1	7.4	25.7	4.7	23.6	8.9
秋田県	11.6	6.7	14.5	8.6	27.0	5.0	26.3	9.8
山形県	11.2	5.7	13.2	7.5	25.8	4.7	24.3	9.0
福島県	11.0	5.7	13.4	7.5	25.4	4.5	23.3	8.5
茨城県	11.5	5.7	13.6	7.6	25.6	4.7	23.9	8.7
栃木県	10.8	5.4	13.2	7.4	25.4	4.6	24.1	8.9
群馬県	11.0	5.5	13.3	7.5	25.9	4.9	24.9	9.4
埼玉県	10.9	5.6	13.1	7.5	25.4	4.6	23.8	8.9
千葉県	11.4	5.5	13.3	7.6	25.5	4.7	24.0	9.0
東京都	11.3	5.7	13.5	8.0	25.8	4.8	24.8	9.3
神奈川県	10.7	5.5	13.1	7.6	25.3	4.6	24.1	9.1
新潟県	11.2	5.9	13.6	7.7	25.4	4.5	24.5	9.0
富山県	11.1	6.0	13.8	8.1	26.3	5.0	25.6	9.5
石川県	11.1	6.3	14.0	8.3	26.2	4.8	25.5	9.5
福井県	11.2	6.2	14.1	8.3	26.6	5.0	26.8	10.0
山梨県	10.5	5.5	13.1	7.5	25.6	4.7	24.0	9.0
長野県	10.9	5.7	13.5	7.7	25.5	4.4	24.2	8.7
岐阜県	10.5	5.5	13.1	7.4	25.5	4.7	25.1	9.2
静岡県	10.9	5.8	13.5	7.6	25.9	4.7	25.5	9.6
愛知県	10.6	5.2	12.9	7.5	25.3	4.6	25.1	9.4
三重県	10.4	5.3	13.0	7.3	25.0	4.4	24.2	8.7
滋賀県	10.7	5.3	12.8	7.2	24.9	4.4	24.0	8.4
京都府	11.0	5.7	13.6	7.8	25.4	4.6	24.4	9.0
大阪府	10.6	5.3	13.1	7.3	24.6	4.2	23.4	8.5
兵庫県	10.9	5.5	13.2	7.6	25.6	4.6	25.1	9.2
奈良県	11.0	5.3	13.4	7.5	25.3	4.6	24.7	9.1
和歌山県	10.4	5.3	13.1	7.2	24.8	4.3	23.7	8.5
鳥取県	11.6	5.7	13.4	7.6	25.5	4.6	24.3	9.0
島根県	11.0	5.4	13.0	7.3	25.7	4.7	23.8	8.9
岡山県	10.7	5.5	13.2	7.4	25.0	4.3	23.6	8.4
広島県	11.4	5.8	13.7	7.8	25.6	4.6	24.6	9.1
山口県	11.0	5.8	13.5	7.6	25.8	4.7	25.3	9.4
徳島県	10.5	5.4	13.1	7.3	25.4	4.5	24.6	8.7
香川県	11.3	5.9	13.3	7.7	25.4	4.6	24.4	9.0
愛媛県	10.9	5.7	13.2	7.5	25.7	4.8	24.7	9.4
高知県	11.2	5.5	13.5	7.5	24.7	4.3	22.6	8.0
福岡県	10.8	5.4	13.2	7.5	25.1	4.5	23.6	8.7
佐賀県	11.0	5.5	13.2	7.4	25.0	4.4	23.0	8.5
長崎県	10.8	5.3	13.3	7.4	25.3	4.5	24.1	8.9
熊本県	10.7	5.5	13.5	7.6	25.3	4.6	24.3	9.2
大分県	11.0	5.7	13.6	7.6	25.5	4.5	24.0	8.6
宮崎県	11.1	5.4	13.2	7.3	25.1	4.5	24.6	9.0
鹿児島県	10.9	5.5	13.4	7.2	25.0	4.4	23.6	8.8
沖縄県	10.8	5.4	13.8	7.4	23.8	4.1	21.0	7.5

※都道府県の平均正答数は、公立のみの数字である。

都道府県別・平均正答率一覧

＜小学校＞

平均正答率（％）

	国語A							国語B							算数A							算数B						
	26年度	(準)25年度	(準)24年度	(準)23年度	(準)21年度	(準)20年度	(準)19年度	26年度	(準)25年度	(準)24年度	(準)23年度	(準)21年度	(準)20年度	(準)19年度	26年度	(準)25年度	(準)24年度	(準)23年度	(準)21年度	(準)20年度	(準)19年度	26年度	(準)25年度	(準)24年度	(準)23年度	(準)21年度	(準)20年度	(準)19年度
全国 (国公立)	73.1	62.9	81.6－81.9	83.3－83.6	70.1	65.6	81.7	55.6	49.6	55.6－56.0	77.9－78.2	50.7	50.7	63.0	78.2	77.3	73.3－73.7	74.2－74.6	78.8	72.3	82.1	58.4	58.6	59.0－59.4	49.4－49.8	55.0	51.8	63.6
全国 (公立)	72.9	62.7	81.4－81.7	83.2－83.5	69.9	65.4	81.7	55.5	49.4	55.4－55.8	77.7－78.0	50.5	50.5	62.0	78.1	77.2	73.1－73.5	74.0－74.4	78.7	72.2	82.1	58.2	58.4	58.7－59.1	49.1－49.5	54.8	51.6	63.6
北海道	71.8	60.4	78.3－79.6	79.1－80.6	68.0	60.5	79.4	52.9	46.4	52.6－54.4	72.5－74.6	45.9	46.4	57.8	75.8	74.9	68.7－70.4	67.8－69.9	74.1	66.4	76.8	55.2	54.0	54.7－56.8	44.1－46.1	51.5	47.7	58.8
青森県	76.6	68.7	84.1－85.3	86.7－87.9	73.6	70.8	85.0	60.5	52.9	57.7－59.6	79.9－81.6	54.0	55.0	65.9	81.3	80.7	76.6－78.1	77.2－79.0	83.6	77.2	85.5	60.8	60.5	60.4－62.3	51.5－53.8	57.1	53.8	66.7
岩手県	73.7	65.5	81.8－83.6	84.8－86.1	71.2	67.8	83.6	58.3	50.8	55.0－57.7	79.6－81.4	53.0	53.3	65.8	78.9	78.3	73.1－75.2	74.7－76.5	80.0	73.9	83.5	58.7	57.9	56.5－58.9	48.3－50.1	55.3	51.8	63.6
宮城県	74.2	60.8	81.2－82.3	82.7－84.0	67.4	64.2	80.7	54.3	47.6	55.1－56.8	76.9－78.5	49.8	49.2	61.0	77.3	76.3	71.9－73.5	72.9－74.7	77.5	71.3	80.8	56.8	56.5	57.2－59.1	46.8－48.7	54.0	50.4	61.4
秋田県	77.4	71.7	86.4－87.3	88.7－89.9	75.3	74.4	86.1	67.3	59.1	62.1－63.8	83.9－85.7	60.4	62.9	69.2	85.1	82.8	78.8－80.2	82.1－84.2	86.2	80.7	88.6	66.2	67.1	63.2－64.9	57.8－60.3	63.7	58.9	68.4
山形県	74.3	63.9	81.7－83.2	84.0－85.7	71.3	68.1	83.4	56.7	48.5	54.0－55.9	77.8－80.0	51.0	52.0	63.9	77.8	77.3	72.7－74.4	73.4－75.6	78.3	73.6	82.5	57.7	57.1	55.1－57.0	47.9－50.0	54.0	51.2	63.5
福島県	73.3	63.9	80.9－82.5	82.5－84.1	70.1	66.4	82.3	57.0	48.5	53.9－56.3	75.8－78.0	50.8	50.4	61.5	78.7	76.4	72.0－73.8	72.1－74.4	77.7	73.0	83.2	57.8	55.3	55.1－57.5	45.5－47.7	53.1	50.1	61.9
茨城県	76.9	63.7	81.9－83.1	83.0－84.3	68.9	65.9	81.3	57.4	49.7	56.2－58.1	76.0－77.6	50.7	49.8	61.0	79.7	77.2	73.9－75.5	72.9－74.5	77.1	71.9	80.1	58.6	58.9	59.3－61.2	48.4－50.2	53.5	50.7	62.5
栃木県	71.9	61.1	79.7－81.0	82.2－83.6	68.8	64.3	81.4	54.5	47.9	53.2－55.2	76.3－78.2	49.9	49.5	61.1	77.7	76.8	71.8－73.5	73.8－75.7	78.9	71.4	80.8	56.8	56.3	55.8－57.5	48.0－50.0	53.3	50.7	61.8
群馬県	73.6	61.3	79.8－81.5	82.6－84.1	70.9	66.2	82.3	55.5	47.5	52.5－54.5	75.5－77.4	50.2	50.0	62.0	78.0	76.4	72.3－74.2	72.7－74.4	78.3	72.7	82.6	57.8	55.0	55.8－57.8	47.0－48.8	54.1	50.8	62.8
埼玉県	72.5	62.6	80.6－81.9	83.5－84.8	70.1	66.2	82.3	55.5	49.7	54.5－56.3	78.0－79.8	51.0	51.8	64.2	76.9	76.2	71.3－72.9	73.8－75.5	77.5	72.3	82.0	57.8	57.7	57.8－59.6	48.6－50.5	55.5	52.5	63.5
千葉県	75.8	61.9	80.9－82.3	82.7－84.2	71.0	66.7	82.3	55.5	50.1	56.4－58.3	77.2－79.2	51.3	51.4	63.6	78.2	77.1	72.6－74.5	73.1－75.1	79.8	72.8	83.2	58.8	59.4	59.3－61.3	49.7－51.7	56.3	53.2	65.2
東京都	75.5	64.8	82.7－84.0	83.8－85.1	71.6	68.5	82.9	57.2	52.1	56.8－58.8	78.6－80.3	53.6	54.1	66.1	79.4	78.4	73.9－75.6	75.6－77.4	79.7	74.2	83.7	61.2	60.8	61.6－63.6	51.8－53.7	58.7	55.7	65.8
神奈川県	71.3	61.5	80.3－81.8	82.5－84.1	68.7	65.1	81.0	54.6	49.7	54.7－56.8	77.7－79.4	50.8	50.7	63.2	76.9	76.5	71.4－73.4	73.0－75.1	78.1	71.7	81.0	58.6	58.7	59.0－61.3	49.8－51.9	56.6	53.0	63.4
新潟県	74.5	66.3	81.2－82.6	83.5－84.7	71.2	67.0	82.5	58.8	50.4	54.6－56.8	76.9－78.7	50.3	50.7	64.3	80.0	79.5	73.3－75.1	72.4－74.5	78.3	71.9	82.1	59.4	59.3	57.7－59.9	47.3－49.1	54.1	51.1	63.3
富山県	74.1	63.8	82.8－84.3	84.5－85.7	72.4	68.8	83.9	59.5	50.7	59.3－61.5	77.5－79.4	51.7	54.3	65.5	81.0	79.7	75.7－77.3	75.2－77.0	80.5	76.0	86.0	62.0	60.4	60.2－62.4	49.5－51.5	56.8	55.1	66.4
石川県	74.1	67.6	84.2－85.4	83.8－85.4	72.7	67.6	83.1	62.7	54.3	59.4－61.2	78.3－80.4	53.4	55.2	63.7	82.5	80.2	77.4－79.2	75.0－77.2	80.7	74.7	84.1	63.6	64.3	62.5－64.6	50.6－52.6	57.5	54.8	64.6
福井県	74.6	68.6	85.1－86.3	86.3－87.5	75.5	70.5	84.8	61.8	54.3	59.2－61.2	80.1－82.4	57.0	57.5	66.6	83.1	81.6	77.4－79.2	77.6－79.5	84.2	78.3	86.8	64.1	65.1	61.6－64.0	52.9－55.6	58.7	56.5	67.8
山梨県	70.1	60.1	80.1－81.5	81.3－82.9	69.3	63.9	81.5	55.0	47.5	53.9－55.8	75.8－77.9	49.8	49.7	61.8	77.0	75.6	70.6－72.5	71.0－73.1	76.8	71.4	82.2	57.6	55.8	56.2－58.3	45.8－47.8	53.6	51.0	62.1
長野県	72.6	63.7	81.8－83.0	83.4－84.9	70.4	66.5	82.1	57.0	50.3	54.9－56.7	77.7－79.5	51.1	51.2	63.0	79.1	77.8	72.4－74.1	72.9－75.0	79.5	72.1	83.7	59.0	59.5	57.6－59.6	47.6－49.4	54.4	51.2	64.0
岐阜県	70.2	61.3	79.8－81.2	82.5－83.9	69.2	65.0	82.1	54.8	49.1	53.5－56.2	77.6－79.5	51.0	53.2	65.6	76.9	76.2	70.8－73.2	71.8－73.8	77.2	70.4	81.4	56.9	56.0	56.3－58.8	47.3－49.4	54.7	52.1	64.6
静岡県	72.8	57.7	79.7－81.1	81.8－83.3	70.8	65.6	82.8	58.4	47.3	53.2－55.1	77.6－79.2	49.2	52.1	64.7	79.4	76.2	71.2－73.1	72.3－74.1	79.3	72.0	82.8	58.5	56.6	56.5－58.7	47.6－49.3	54.1	51.4	63.2
愛知県	70.5	61.2	79.8－81.4	80.5－82.5	70.4	64.4	80.8	52.4	48.6	54.0－56.1	75.6－77.8	49.7	49.9	62.4	75.8	76.2	71.1－73.0	72.0－74.2	79.2	71.9	82.7	57.4	59.5	58.3－60.4	47.7－50.0	55.2	51.9	64.7
三重県	69.6	60.3	79.0－80.2	80.9－82.5	67.8	62.9	80.6	52.5	46.7	51.8－53.5	74.2－76.2	46.9	47.1	59.7	76.2	75.8	71.4－73.0	71.5－73.4	76.0	70.9	80.9	56.0	55.3	56.0－57.6	46.5－48.2	52.5	49.7	61.3
滋賀県	71.0	58.8	79.5－81.2	81.5－83.2	68.3	62.3	80.5	52.7	46.4	52.5－55.0	76.8－78.6	48.0	47.8	60.2	75.6	74.7	70.1－72.2	71.8－73.8	76.8	70.3	80.5	55.3	55.1	55.0－57.5	46.6－48.7	53.4	50.4	62.4
京都府	73.3	65.8	82.7－83.8	84.8－86.2	71.6	68.4	82.9	56.9	52.1	57.2－59.1	79.4－81.3	53.4	53.7	64.4	79.9	79.2	75.7－77.3	77.3－79.2	82.2	75.3	85.0	59.7	61.1	60.9－62.7	51.6－53.9	56.6	53.3	66.1
大阪府	70.7	61.2	79.8－81.3	81.1－82.7	68.3	62.7	79.5	52.6	47.9	52.5－54.4	74.8－76.9	49.4	47.0	58.0	77.3	77.1	73.3－75.1	73.7－75.7	78.4	71.2	80.7	56.3	57.3	57.3－59.5	47.0－49.2	53.8	49.9	61.0
兵庫県	72.9	63.3	81.7－83.1	82.8－84.1	70.7	66.1	81.9	54.6	49.9	54.5－56.4	77.0－78.8	50.9	50.8	62.4	77.7	77.4	73.0－74.8	72.9－74.8	79.2	73.0	82.4	58.4	59.2	58.4－60.3	47.8－49.6	54.8	52.2	63.9
奈良県	73.2	62.6	81.9－83.3	83.3－84.8	70.6	66.2	82.3	53.5	50.1	55.8－58.0	77.9－79.9	51.4	51.5	63.2	78.6	78.6	74.6－76.4	73.8－75.8	79.8	73.0	82.6	57.7	58.5	58.9－61.1	49.1－51.1	56.0	52.4	64.1
和歌山県	69.4	62.4	79.2－80.7	81.8－83.2	69.8	64.3	80.9	53.4	47.5	50.9－52.9	75.0－77.0	48.4	47.4	59.4	76.8	76.4	72.0－73.8	72.6－74.6	79.4	72.7	82.7	55.7	56.9	55.8－57.7	46.9－48.9	53.0	48.9	62.5
鳥取県	77.0	63.9	82.5－83.9	85.0－86.6	70.9	68.0	84.2	56.5	50.4	55.0－57.3	80.0－82.1	52.5	51.7	63.9	78.6	78.1	72.0－73.7	75.4－77.5	81.5	73.3	84.4	58.1	60.2	56.2－58.3	50.3－52.5	55.9	52.2	64.8
島根県	73.67																											

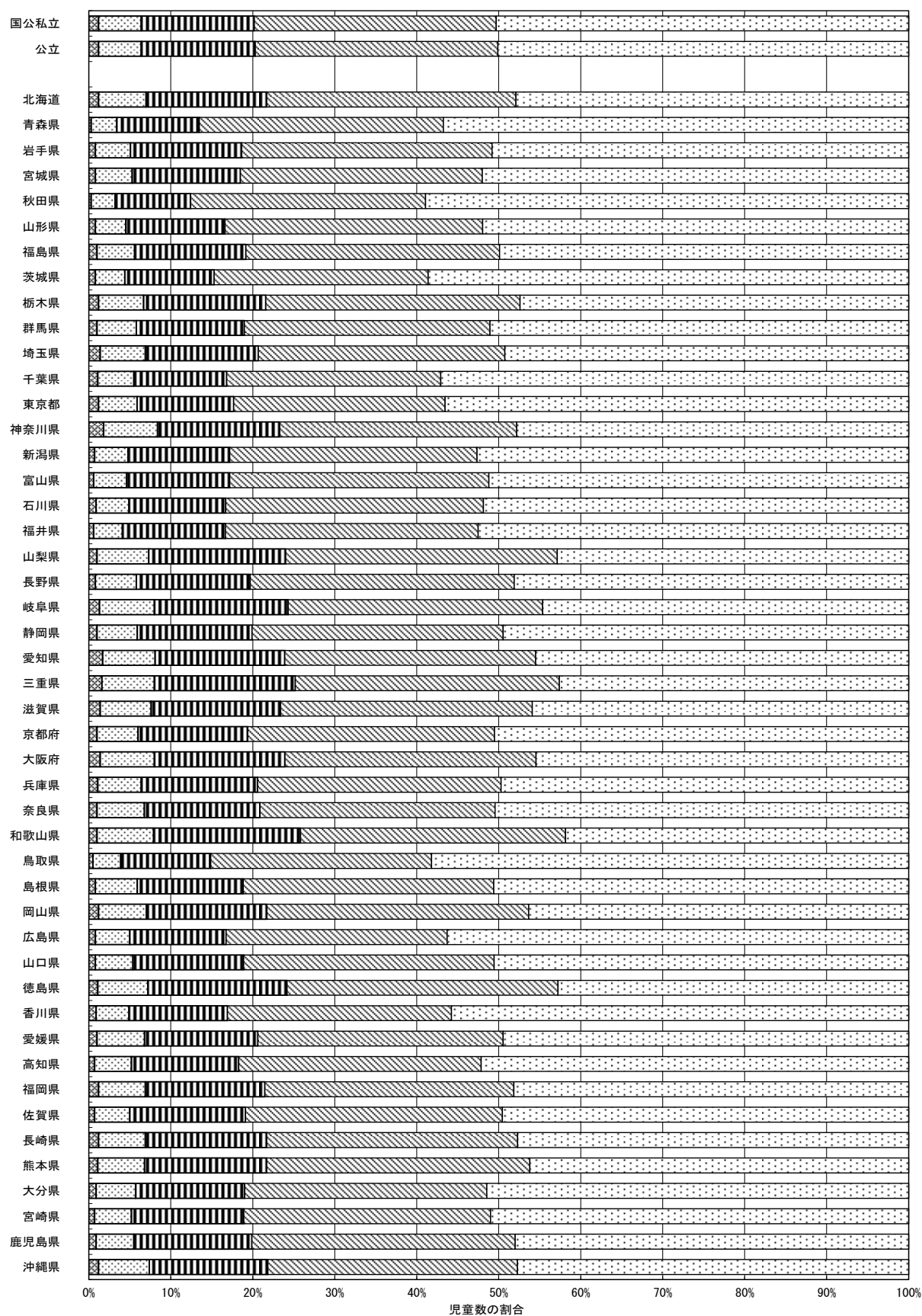
＜中学校＞

平均正答率（％）

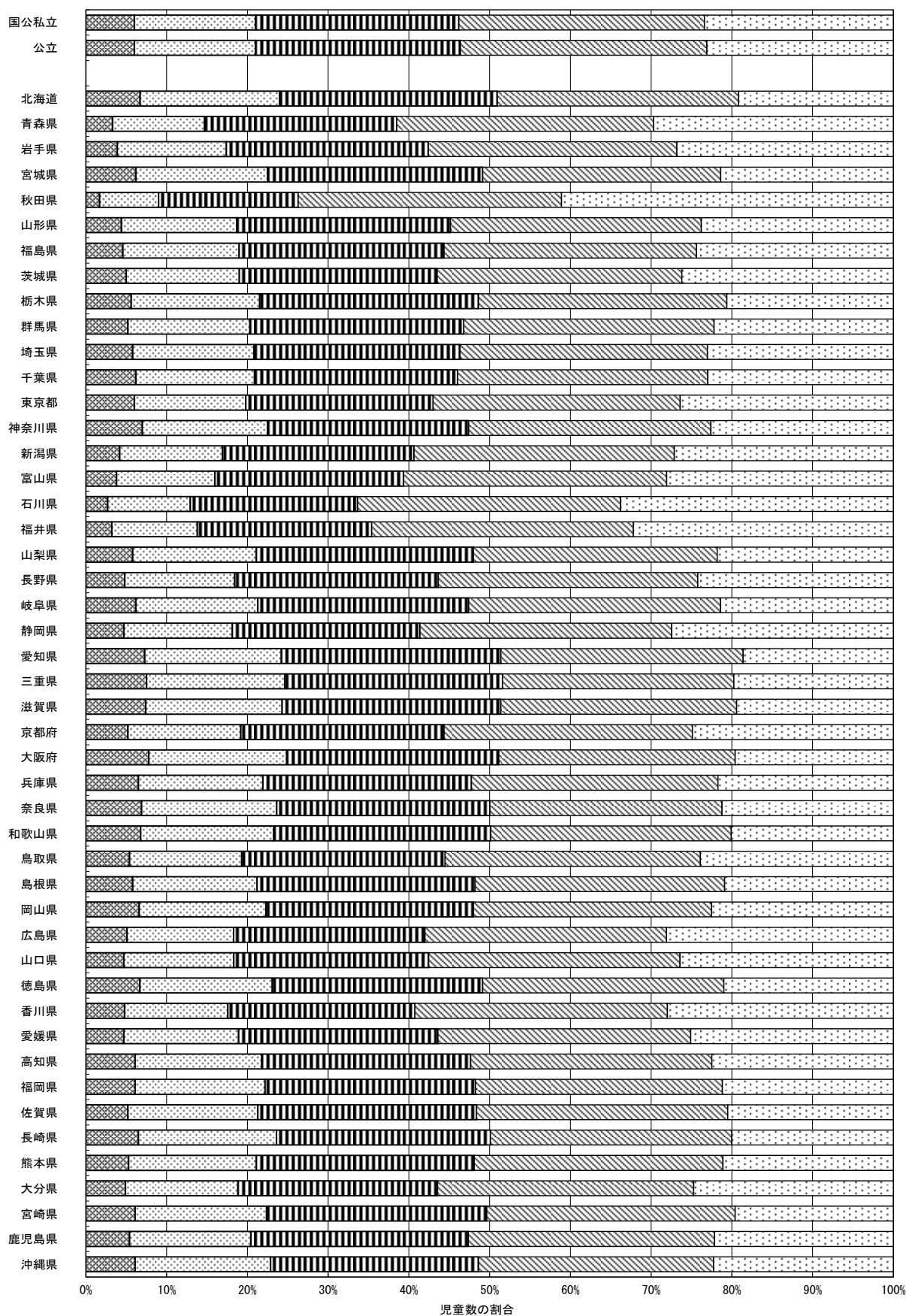
	国語A							国語B							数学A							数学B						
	26年度	25年度	24年度	22年度	21年度	20年度	19年度	26年度	25年度	24年度	22年度	21年度	20年度	19年度	26年度	25年度	24年度	22年度	21年度	20年度	19年度	26年度	25年度	24年度	22年度	21年度	20年度	19年度
全国 (国公立)	79.8	76.8	75.9－76.2	76.0－76.3	77.4	74.1	82.2	51.6	68.0	64.1－64.4	66.3－66.7	75.0	61.6	72.0	67.9	64.3	63.4－63.8	65.9－66.4	63.4	63.9	72.8	60.5	42.4	50.8－51.4	44.9－45.6	57.6	50.0	61.2
全国 (公立)	79.4	76.4	75.0－75.2	75.0－75.2	77.0	73.6	81.6	51.0	67.4	63.2－63.4	65.1－65.5	74.5	60.9	72.0	67.4	63.7	62.0－62.3	64.4－64.8	62.7	63.1	71.9	59.8	41.5	49.2－49.5	43.1－43.5	56.9	49.2	60.6
北海道	79.4	76.0	73.6－74.8	74.1－75.3	76.1	72.7	80.5	49.9	66.2	62.4－63.8	62.1－63.7	72.6	59.0	69.6	66.0	62.3	59.9－61.6	61.8－63.6	61.1	60.4	68.7	59.4	39.1	47.1－49.1	40.1－42.4	55.4	46.0	57.5
青森県	81.0	78.8	75.5－76.5	76.5－77.9	78.9	75.3	83.8	52.0	67.7	64.8－66.2	66.1－67.9	75.7	61.7	73.0	69.3	65.0	61.6－63.2	65.5－68.0	64.2	65.0	73.8	60.7	42.4	47.9－49.9	43.2－45.9	56.0	50.2	61.2
岩手県	80.5	78.2	75.2－76.6	75.9－77.0	78.2	74.3	82.8	51.8	68.1	63.3－65.1	63.9－65.7	74.2	60.6	72.9	64.1	59.9	57.8－60.3	59.3－61.3	57.9	58.1	68.7	57.5	37.4	45.9－48.9	39.5－41.5	53.0	45.9	58.3
宮城県	80.3	77.6	75.6－76.8	75.6－76.7	78.1	73.8	80.7	52.0	68.6	64.9－66.2	66.0－67.4	76.4	61.8	71.0	65.6	62.2	59.9－61.8	63.4－65.4	62.1	61.4	70.2	59.4	39.7	49.4－51.6	42.9－45.1	57.7	49.1	59.1
秋田県	84.4	81.9	79.2－80.2	79.3－80.2	82.3	78.6	85.3	55.8	74.6	69.7－70.8	71.0－72.4	81.8	66.8	77.1	73.0	68.9	66.6－68.2	70.0－71.7	68.8	70.2	77.6	65.5	47.5	55.6－57.7	49.0－50.9	63.4	54.7	65.4
山形県	80.6	78.9	76.6－78.1	76.4－77.5	80.4	76.7	84.6	52.1	69.1	66.0－67.9	67.9－69.3	78.7	64.6	76.2	67.6	63.1	61.1－63.4	64.2－65.8	65.1	65.5	75.3	60.2	40.7	48.8－51.4	43.7－45.5	59.2	51.9	63.8
福島県	79.4	77.3	76.0－77.2	74.3－75.7	78.3	74.4	82.1	50.5	66.4	63.6－65.2	64.1－66.0	75.7	60.8	72.7	64.7	61.0	60.0－61.9	61.3－64.0	62.3	61.4	71.5	56.8	38.1	47.9－50.4	40.5－43.3	56.3	48.3	60.1
茨城県	79.9	77.2	74.1－75.5	74.9－76.0	77.6	74.0	81.8	52.3	69.5	64.7－65.9	65.6－67.1	75.8	62.4	73.3	66.5	62.9	61.0－62.8	62.9－64.7	60.9	63.8	70.4	57.8	42.1	49.5－51.8	42.4－44.2	56.6	48.2	59.3
栃木県	79.3	77.2	74.7－76.0	74.2－75.5	77.8	73.7	82.6	51.4	68.0	63.0－64.4	64.9－66.6	76.5	60.8	73.7	66.9	63.8	60.5－62.7	62.6－65.0	62.8	62.4	71.9	59.3	41.1	48.4－50.8	41.4－44.1	57.9	48.6	60.7
群馬県	81.1	78.1	76.6－78.0	76.2－77.6	79.0	75.7	83.1	54.2	68.8	64.7－66.2	67.9－69.5	77.3	63.7	74.4	69.2	64.9	62.7－64.7	65.9－67.9	64.7	65.5	73.8	62.6	42.8	51.8－54.1	45.5－47.9	60.3	52.1	63.3
埼玉県	79.4	76.5	74.1－75.3	74.3－75.6	76.5	73.2	81.6	51.5	68.8	62.5－63.8	65.3－67.0	74.2	61.1	72.3	66.2	62.8	59.3－61.1	62.6－64.9	61.6	61.1	70.4	59.3	40.6	47.1－49.1	41.4－43.8	55.9	47.8	59.9
千葉県	79.8	76.2	74.3－75.5	74.8－75.9	76.8	72.8	81.6	51.7	68.1	62.9－64.2	65.8－67.3	74.6	61.6	71.8	66.7	63.2	60.5－62.2	63.0－64.9	61.6	61.7	70.0	60.1	41.5	47.7－49.9	42.2－44.3	56.7	49.1	60.2
東京都	80.7	77.3	75.4－76.7	75.6－76.9	77.0	73.5	81.6	53.2	69.3	63.3－64.7	65.8－67.6	73.8	61.4	71.8	68.8	65.2	62.8－64.8	64.5－66.6	62.6	62.6	71.3	61.8	43.2	50.1－52.6	42.9－45.3	56.8	48.9	60.5
神奈川県	79.2	76.3	74.3－75.6	74.7－75.8	75.6	73.2	81.2	51.5	68.9	62.9－64.2	64.4－65.9	73.2	61.1	71.5	67.0	63.8	60.3－62.2	63.6－65.5	62.2	62.6	70.3	60.8	41.9	48.7－50.9	42.5－44.6	56.7	48.6	60.6
新潟県	79.5	76.5	74.4－75.5	75.1－76.4	77.7	73.6	82.8	50.3	66.6	62.0－63.3	65.7－67.5	75.1	61.3	72.8	67.9	62.7	60.2－62.0	62.3－64.6	61.8	62.8	72.2	59.8	39.2	46.3－48.5	40.8－43.4	56.7	49.3	60.8
富山県	82.3	78.9	77.6－78.6	78.0－79.0	81.8	78.0	85.6	55.1	70.4	66.4－67.5	68.7－70.4	80.1	67.1	76.7	71.1	65.8	65.7－67.2	67.7－69.6	68.4	69.9	77.3	63.6	43.9	53.7－55.5	48.4－50.5	63.6	55.2	66.1
石川県	81.9	78.3	76.5－77.6	77.0－78.1	79.9	76.0	83.7	53.7	70.7	65.8－67.1	66.9－68.5	77.8	64.2	75.5	70.9	66.6	65.4－67.1	67.2－69.2	67.0	66.4	76.1	63.4	45.0	53.6－55.8	45.8－48.2	61.9	53.1	65.0
福井県	83.0	80.0	78.3－79.5	78.8－80.0	82.0	78.4	84.9	55.9	71.7	66.6－68.4	69.8－71.7	80.8	67.3	77.2	74.3	69.9	67.2－69.0	71.6－73.1	70.5	72.1	80.3	66.9	49.2	55.1－57.3	51.9－53.8	65.2	58.5	67.7
山梨県	80.0	76.9	75.4－77.0	74.8－76.0	77.6	74.7	82.2	52.0	67.4	63.6－65.9	66.0－67.8	77.1	62.1	73.9	66.6	62.1	59.2－61.9	62.0－64.7	61.9	62.3	71.4	59.7	40.0	49.7－53.0	41.4－43.9	57.1	50.0	61.7
長野県	79.7	76.8	75.6－77.0	73.6－75.2	77.9	74.3	83.4	49.4	65.9	62.6－65.0	62.6－65.0	74.8	61.3	72.8	67.2	61.9	61.2－63.5	61.1－64.1	62.5	63.3	73.0	58.1	40.2	47.1－50.4	39.7－42.8	56.7	50.4	61.6
岐阜県	79.8	77.1	75.1－76.2	77.0－78.1	79.1	75.7	83.3	52.0	70.2	65.2－66.5	67.8－69.1	78.5	65.3	76.3	69.8	66.6	64.2－66.0	66.7－68.6	65.8	67.0	75.7	61.3	45.7	52.0－54.1	47.5－49.6	62.7	52.9	65.4
静岡県	80.8	77.1	75.6－76.6	76.0－77.2	79.2	75.4	83.0	52.5	68.7	63.4－64.7	66.8－68.5	77.3	64.1	76.1	70.9	65.0	64.5－66.1	66.2－68.2	65.8	67.0	75.5	63.7	44.6	51.7－53.7	45.3－47.6	60.7	52.7	63.7
愛知県	79.2	76.3	74.7－75.8	74.4－75.8	77.4	74.5	82.3	51.5	67.1	63.0－64.2	64.3－66.1	75.0	62.1	72.5	69.7	66.3	64.2－65.8	65.9－68.1	65.9	67.0	75.7	62.5	44.5	49.9－51.9	44.1－46.6	59.7	53.1	64.2
三重県	78.0	75.0	73.3－74.7	73.5－74.7	75.9	72.6	81.6	49.0	65.8	60.4－61.8	63.3－65.0	73.3	59.5	70.5	67.1	63.2	60.7－62.6	64.3－66.4	62.7	63.8	73.1	58.3	39.3	46.9－49.1	41.7－43.8	56.5	49.3	60.7
滋賀県	77.9	75.5	74.2－75.3	74.2－75.6	76.8	72.5	80.8	48.8	65.6	61.4－62.6	63.4－65.3	74.0	59.6	68.9	66.5	64.4	62.2－63.8	64.9－67.1	63.6	64.6	72.5	56.3	40.4	47.4－49.3	42.8－45.5	57.2	48.1	58.8
京都府	79.4	76.3	74.2－75.4	74.2－75.3	75.9	73.5	81.3	51.3	68.2	61.5－62.9	63.4－64.8	73.0	61.0	72.0	67.7	64.2	61.6－63.3	62.8－64.6	62.3	64.1	72.7	60.1	42.9	47.3－49.6	40.9－42.9	55.5	49.5	60.9
大阪府	77.0	73.3	72.5－73.7	71.0－72.3	72.7	70.5	79.1	47.2	63.0	58.4－59.7	59.3－61.1	68.3	55.3	65.3	65.0	61.7	59.4－61.0	61.4－63.6	59.9	60.6	69.4	56.9	38.8	45.0－46.9	38.4－40.6	52.5	45.2	55.0
兵庫県	79.9	76.8	75.5－76.5	74.2－75.3	77.2	73.3	81.9	51.1	67.0	61.6－62.8	63.9－65.4	74.0	59.6	69.9	69.6	65.9	63.0－64.5	66.1－68.0	64.7	65.3	74.1	61.3	43.8	48.8－50.6	43.6－45.8	57.9	50.3	61.0
奈良県	79.0	77.1	75.9－77.5	75.1－76.2	78.2	74.6	83.0	50.8	67.5	62.0－63.8	64.3－65.7	76.1	62.3	72.5	68.5	65.5	62.3－64.7	65.9－67.8	65.3	66.3	74.5	60.5	42.9	49.0－51.8	44.3－46.4	59.0	51.5	61.6
和歌山県	77.4	74.4	73.9－75.2	71.8－73.0	74.9	71.9	80.2	47.5	64.3	61.0－62.5	61.1－62.7	70.7	57.0	66.6	65.9	63.4	62.0－63.8	64.0－65.7	63.1	64.3	72.8	56.8	40.3	47.4－49.7	41.0－43.2	56.0	48.8	58.0
鳥取県	79.5	77.6	75.3－76.6	76.6－77.7	79.3	75.5	81.9	51.2	68.6	64.3－66.0	66.2－67.9	76.4	61.3	72.1	67.4	64.8	63.1－65.0	64.8－67.4	64.0	64.4	73.3	59.7	43.0	48.1－50.8	43.2－45.7			

都道府県別・児童生徒の正答率分布一覧

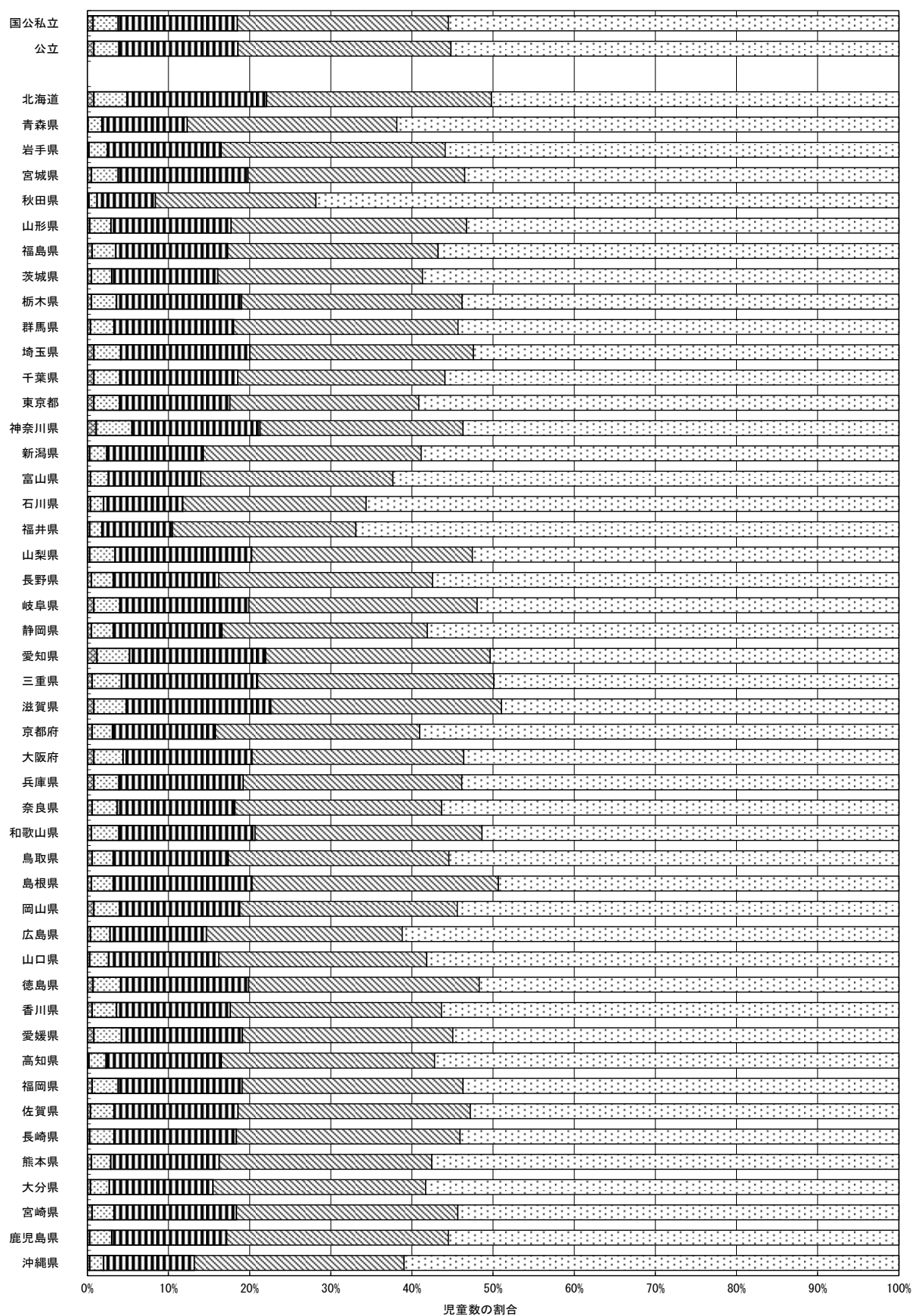
< 小学校・国語 A >



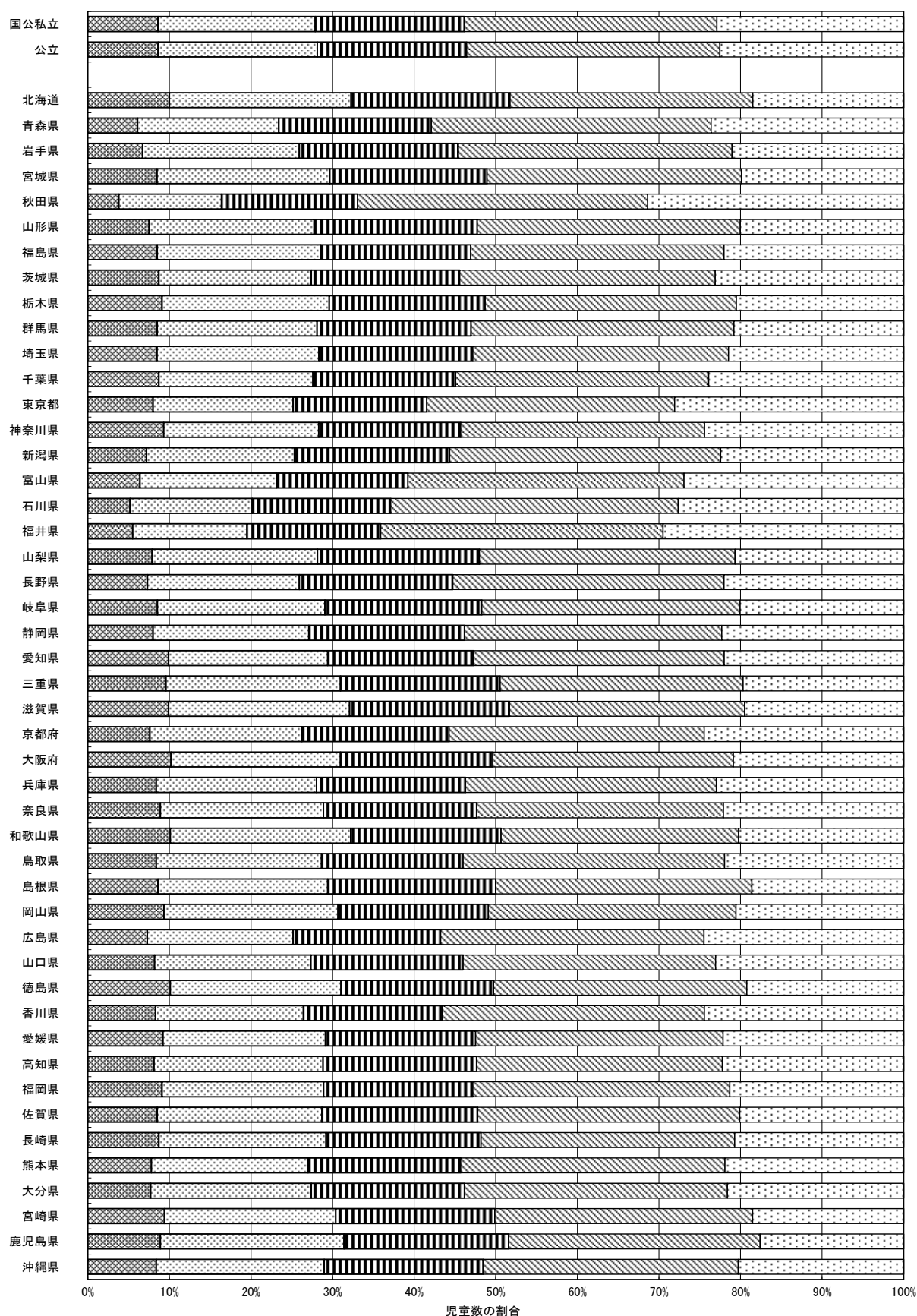
< 小学校・国語B >



< 小学校・算数 A >



< 小学校・算数B >



正答率



~20%



20~40%



40~60%

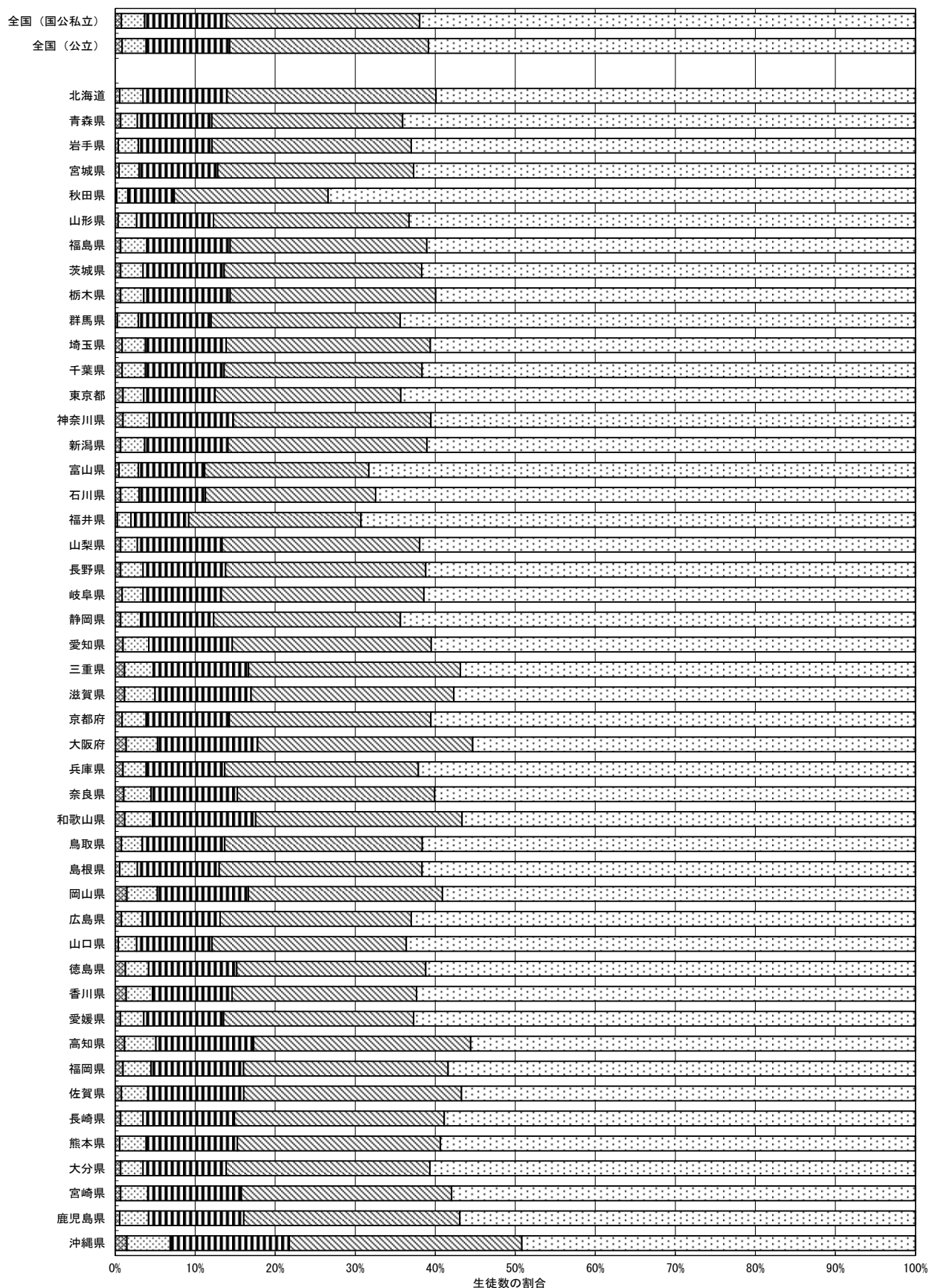


60~80%



80%~

< 中学校・国語A >



正答率



~20%



20~40%



40~60%

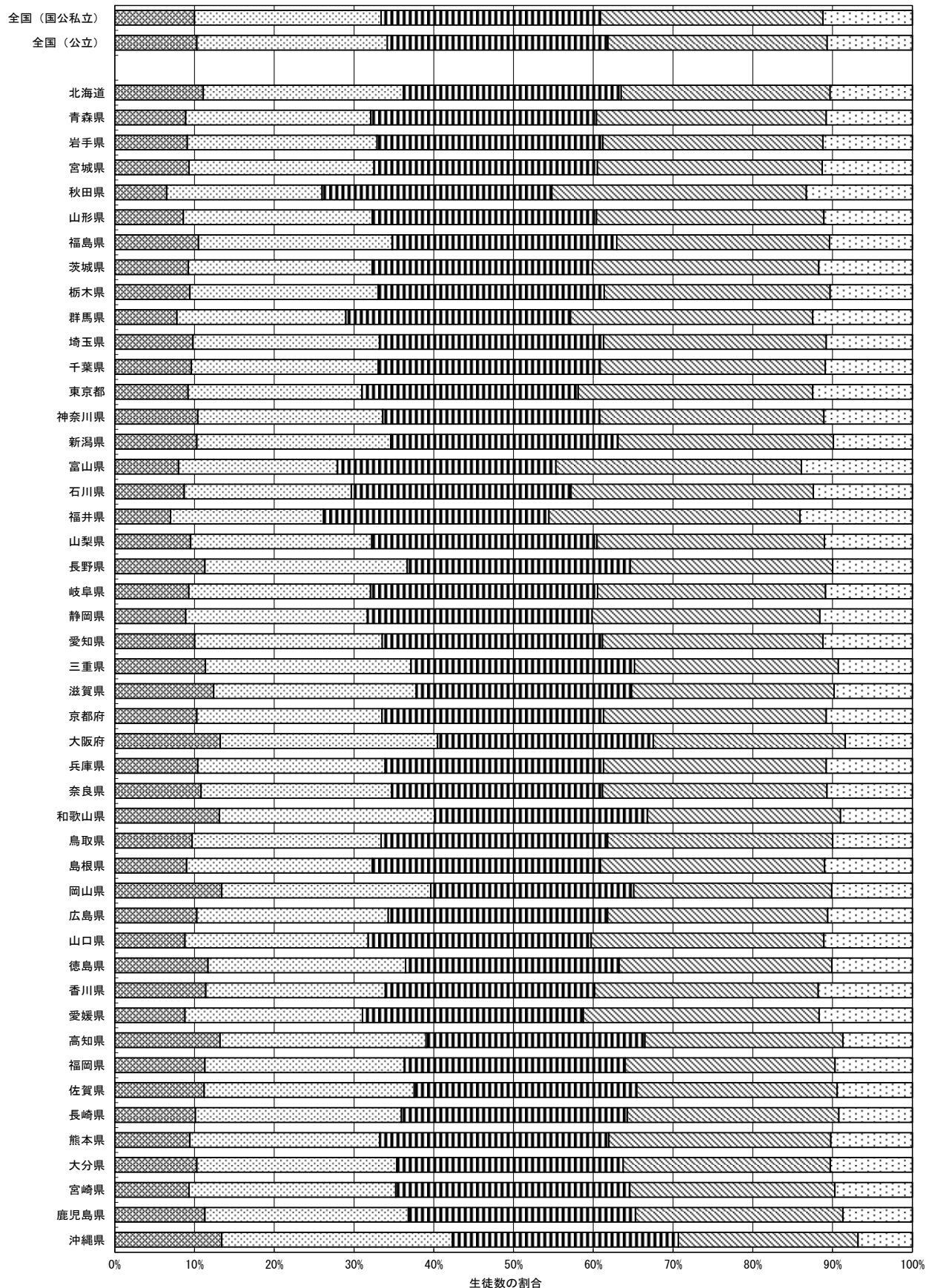


60~80%

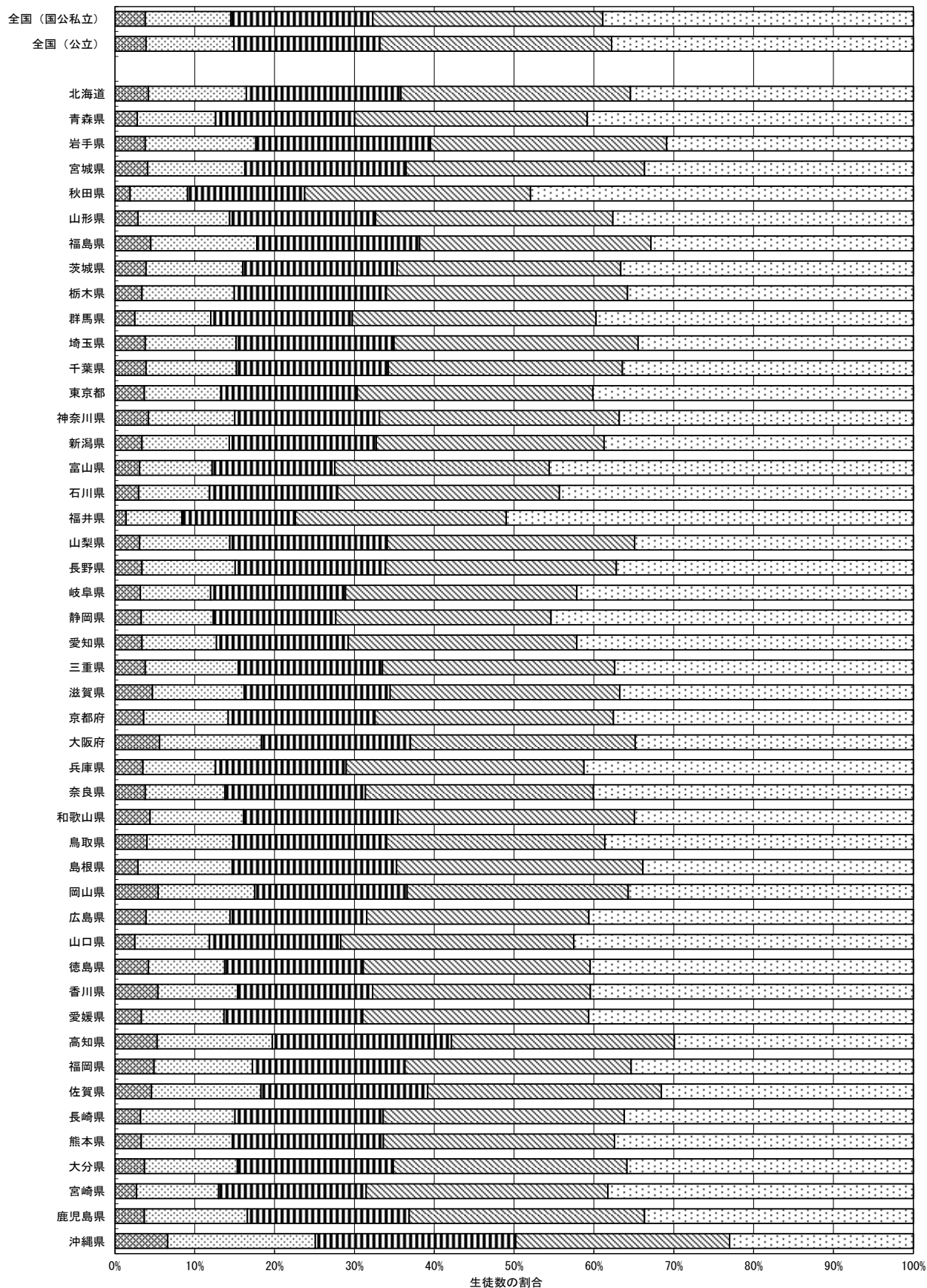


80%~

< 中学校・国語B >



< 中学校・数学A >



正答率

~20%

20~40%

40~60%

60~80%

80%~

< 中学校・数学B >

